國際經濟週報

新聞聯合社發行

321 (No. 612) 昭和六年十月廿四日發行 第十二卷 第四十號 (大正九年十月九日第三種郵便物認可 毎週一回土曜日發行)

6.10.27

戰債改訂問題とアメリカ

ワシントン 十月八日(木)

アメリカ大統領フーヴァー氏は愈々今月末ワシントンを訪問するフランス首相ラヴァール氏と戰債問題をはじめ現下の世界的不況に對する對策を協議するはずであるが、右會議に於てフーヴァー大統領はヨーロッパ諸國が徹底的軍備縮少を行はない限りこれ等諸國がアメリカに負ふ現在の戰債の負擔を更に輕くすることは出來ぬと提議することが漸く明かとなつた。更に軍備縮少と海軍休日案とが戰債問題と關聯して討議せられ、これに世界財界の問題が織込まれて米佛兩巨頭の會見の主要議題となることも明瞭となつた。なほ六日夜フーヴァー大統領が上下兩院領袖連と會議したが、席上大統領がモラトリアム延長案を持出した場合議員連はヨーロッパの軍備縮少が如何なる結果を得るかを見る必要があるとてモラトリアムの延長に對する決定を留保するに至つたものであると觀られてゐる

ワシントン 十月八日(木)

アメリカ現在のモラトリアムを更に延長するか進んで對歐洲戰債の期限を實行するか否かは今や各方面から異常の注意を以て觀られてゐるが、多くのアメリカ銀行家、特に海外に投資を有する銀行家連がモラトリアムの延長を熱望してゐることは一般に認められてゐる所である。またアメリカ政府及び議會の多くの財政專門家が現モラトリアムの期限滿了期日たる來年七月に於てドイツの賠償債務支拂能力が本年七月の狀態と比して殆ど改善されるに至らずと信じてゐることも事實であるのみならず、ドイツはヤング賠償案に基いて二ケ年間の支拂の停止を要求する權利を有してゐるのであるからアメリカの爲政家は不可避と思はれる事柄に對して豫め何等かの代償を得て承諾を與へんとするであらうと觀られる。モラトリアムは右の通りだが、一方アメリカ當局が歐洲戰債の完全なる改訂交渉に入る意思があるか否かについては今の所全く不明である。然しフーヴァー大統領は六日の會議に於てモラトリアムを提案する際には余は戰債放棄に反對であると明確に聲明して置いたと強調した事實がある。

戰債支拂金の受領を固執

ワシントン 十月九日(金)

今や戰債及び賠償金の支拂猶豫若くは取消し問題は世界注視の的となるに至つたが、アメリカ政府はヨーロッパ各國より受領すべき戰債支拂金の受領をあくまで債務國の支拂能力を基礎として決定すべき計畫なる旨を本日再び明らかにした。

即ちアメリカ當局の明らかにした點は大體アメリカはあくまで債務國の支拂能力を以て歐洲戰債取立ての基礎となすものであり、フーヴァー大統領が各國政府間の債務支拂一ヶ年延期(即ち所謂フーヴァーモラトリアム)を更に延長する旨の提議をなした事實は全然ない。アメリカ政府は外國政府に對し支拂能力以上の債務支拂を強制する意圖は有してゐない。ヨーロッパの債務國が支拂ひ得る限りに於てあくまで戰債協定の履行をなすべきことを固執する明確な意思を有するものであると云ふにある。

不生產的の國際貸借を停止せよ

ワシントン 十月八日(木)

本日フーヴァー大統領は目下當地に開會中の汎米商業會議に列席し西半球の各國代表六百餘名を前にして刻下の經濟問題に關し一場の演說を試み特に『各國民は生產の目的にあらざる貸借を行つてはならない』と强調して滿場の喝采を博した。更にフーヴァー氏は一九二七年の同會議に於て氏自ら行つた聲明を回想して左の如く力說した。

右の方針は戰爭及び國際的紛爭並に經濟的困難の防止に貢獻するであらう。予が今日特にこれを强調する所以は若し斯る試みが過去五ケ年間に實行されてゐたならば世界を通じて吾々が現在當面せる問題は遙かに異つた局面を現出してゐたであらう。且つ又吾々の經濟的困難は無限に輕減されてゐた事であらうと信ずる。右演說が終るや西半球二十ケ國の代表は一齊に立ち上つて拍手喝采した。

金本位制の將來

ロンドン 十月六日(火)

金本位制を停止したイギリスの近き將來に於て直面すべき金本位制復歸問題に關し保守黨のサー・ヒルトン・ヤング氏は本日イギリス帝國協會の會合に於て大要左の如き演說をなした。

何はおいても我々は先づ可及的速かに通貨安定を再建せねばならぬ。然し我々はその安定を金本位制度に復歸することによつて達成し得るものであらうが、現在の如くフランス及びアメリカが世界の金供給の四分ノ三を獨占してゐる限り、金本位制への復歸は不可能である。只將來に於ける本位制の形式如何については何人と雖もこれを豫言し得ぬであらうと思ふ。これは先づ第一に金配分に關する國際會議の實現の可能性如何に依存する。更に一層重要なことは通貨安定を再び確立すべき直接的實際方法を如何に定むべきかの問題でこの點に關し余は既存稅率に於て一割よりも高い直接稅並に關稅の減額を適當であらうと思ふ。

英佛兩當局の經濟的時局會談

パリー 十月八日(木)

イギリス外相レディング卿はパリーに二日間滯在し、ラヴァール首相、ブリアン外相、フランダン藏相等のフランス政府首腦部と長時間に亘る會談を遂げた後、本日ロンドンに向つて歸還の途に就いたが、レディング外相今回の訪佛の結果に就ては、兩國首腦部間に徹底的な意見の交換が行はれたが、何等重大な決定は行はれなかつたと言ふに盡きるものゝ如くである。即ち兩國當事者は互に相手方の見解を一層深く知ることが出來、その結果としてイギリス・フランス協力の誓ひを一段と早めることゝなつて今回の會談に於てラヴァール首相及びブリアン外相はレディング外相に對し過般のベルリンに於ける佛獨會談の結果成立された佛獨經濟委員會の目的を充分說明し、レディング外相も之を諒としてイギリス政府は佛獨關係の上に一新紀元が劃せられるに到るものと認むる旨を表明した

一方レディング外相の會談と併行しイギリス大藏省のサー・フレデリック・レイス・ロス氏がフランス大藏當局とのボンド下落による「技術」問題に就き討議を重ね、茲一週間英佛大藏省當局が密接な接觸を保つ事を決定したので、結局フランスがボンド下落喰止めに助力する事となる模樣である。

イギリス議會の解散

ロンドン 十月七日(水)

イギリス議會は緊急會期の閉會に續き直ちに下院解散の詔勅が下つた。總選擧は來る十月廿七日を以て全國一齊に擧行さるべく、これが候補者屆出での締切を爲すべき「指名日」は十月十六日と決定してゐる。

マック首相の宣言

ロンドン 十月七日(水)

協力內閣を率ひて來るべき總選擧に臨まんとするマクドナルド首相は本日の議會解散後直ちに總選擧宣言書を發表し、協力內閣の選擧態度を明かにした。この宣言書は「協力內閣」閣僚一致の贊成を得たものである。宣言書は先づ協力內閣組織の止むなきに至つた事情と困難に關し左の如く述べてゐる。

來るべき內閣は各種各般の問題を處理する必要に直面するであらう。イギリスは今や例外的取扱を要する特異的緊急事態の秋である。何人も今後如何なる事態が起るかを豫見し得ない。從つて細目に亘る政綱を作成し、これに對して特殊の口約を與へることは到底不可能である。政府は關稅をはじめ輸入の縮減、自治領政府との通商條約、相互的經濟取定めの如き總ての提案を考慮する自由を得なければならぬ。而してこの難局に處する救濟策は黨派的見地に立つて黨爭に從ふ政黨の手によつて實行せられる事は出來ぬ。(次頁へ續く)

國別索引

毎號連載 事項省略

米國
- 不生產的の國際貸借を停止せよ……三二
- ニューヨーク十月一日現在上場株式總數及其價格……三三
- 大統領鐵道株安定策を考究……三三
- 九月中の手形交換高……三三
- ニューヨーク聯銀利上……三三
- ボストン準銀の利上……三三
- クリーヴランド準銀の利上……三三
- 金利一齊に引締る……三三
- 金融機關會社を設立……三三
- アメリカ精煉會社の減配……三三
- ワシントン・チエム・バース商會の破綻……三三
- 九月中の鐵生產高……三三
- ユー・エス・スチール九月末鋼鐵註文殘高……三三
- 第四回新棉繰上高……三六
- 十月一日調査新米棉作柄及收穫豫想……三六
- 米棉減反法案實施されん……三六
- 一九三一年度甜菜收穫豫想……三七
- 春小麥最終收穫豫想……三七
- 汽船會社の大合同案……三八

亞爾然丁
- 亞麻仁第二回反別豫想……三七
- 小麥反別第二回豫想……三七

英國
- 金本位制の將來……三二
- 九月中の紡績棉花引取高……三六
- 紡績統制案お流れ……三六
- ランカシアの活況……三六
- ヴイスコース糸値上か……三七
- ポルチツク傭船契約……三八

佛國
- フランス銀行の利上……三三

獨逸
- 聯立內閣の總辭職と新內閣の成立……三三
- ベルリン株式取引所再開促進策……三三

墺地利
- 政府の爲替管理……三三

瑞典
- スエーデン銀行の利下……三三

諾威
- 國立銀行の利下……三三

埃及
- 一九三一—三二年度エヂプト棉第一回豫想……三六

海峽植民地
- 九月末殖民地ゴム在荷……三八

瓜哇
- ジャワ本年糖第七回豫想……三七

支那
- 上海綿糸布市況……三七

日本
- 日本銀行の利上……三三
- 正金銀行の現送……三三

國際
- 戰債改訂問題とアメリカ……三一
- 英佛兩當局の經濟的時局談……三一

(本號所揭電報=昭和六年十月四日——十日迄發信)

A7
7

（昭和六年十月四日——十日發信）

（前頁より續く）

この難局打開は討議と檢討と行動とに關し共同の責任を負擔する全政黨の自發的協力に俟つ外はない。議會は新たな生命と新たな委任を賦與されねばならぬ。これ今回の總選擧の必要となつた所以である。而して今回の總選擧の結果は全世界人の眼にイギリス人がこの國家的難局に立つて互に協力一致し、國民自身並にその信用を確乎不拔の地位に置くに必要なる一切の手段を支持する斷乎たる決意を有することを些の疑念なく看取せしめるに外ならない。

ドイツ聯立內閣の總辭職と新內閣の成立

ベルリン 十月七日(水)

ブリーニング氏を首班とするドイツ聯立內閣は本日午前十一時四十分（日本時間七日午後七時四十分）總辭職した。

ベルリン 十月九日(金)

ブリューニング博士を首班とするドイツ後繼內閣は愈今夜を以て成立したその顏觸は左の通り。

首相兼外相 留任)
ハインリッヒ・ブリューニング(中央黨)
副總理兼藏相(留任)
ヘルマン・ディトリッヒ(ドイツ民主黨)
經濟相(新任)
ワルン・ボルム
勞働相(留任)
アダム・シテーゲルワルト(中央黨)
內相(前國防相)
ウヰルヘルム・グレーナー博士(無所屬)
法相(留任)
カー・イエール博士
農業食糧相(留任)
マルチン・シーレ博士(農民聯盟)
運輸相(前無任所相)
ゲー・トレヴィラヌス(人民黨)
遞相(留任)
ゲー・シッツエル博士(バイエル人民黨)

株式・金融

ニューヨーク株式市況

ニューヨーク 十月十日(土)

フーヴァー大統領の金融機關設立案は市場の人氣悲觀の極に達せる際に發表せられた事とてそれが各方面に及ぼしたる心理的影響は甚大なるものあり株式市場は急奔騰を演じた。而して買ひ物は先きを爭つて殺到したが、これは市場が從來非常に賣り過ぎとなつてゐたことを裏書きするものなりと見られてゐる。尤も相場急騰の結果若干の利喰ひ賣りも現はれたが、然し思惑買人氣は直ちに海外に波及し、相場は再び上げ足に轉じ、相場が昂がると共に商內活氣を加へてゐる。主要商品市場が活況を呈してゐることも好材料となつてゐる。

一方最近多數の小銀行休業が報ぜられ、又工業界の情報にも格別人意を强からしめるものがない。更に海外の財界、政界も不安の雲が去らない現狀に鑑み市場はやがて閑散となり取引も減退するに至るだらうと見る向も多い。

コールマネーは一分半で聢りを維持してゐる。ニューヨーク準備銀行の再割引率二分半に引上げは金融界に稍々意外の感を與へた。

債券市場はフーヴァー大統領の提案につれ一齊に上向き、特に鐵道社債の昂騰が著しかつた。尤も準銀利上げで債券類は一時引弛みを見せるものと觀測される。

ニューヨーク十月一日現在上場株式總數及其價格

ニューヨーク 十月七日(水)

ニューヨーク株式取引所發表、十月一日現在の同取引所上場株式總數及其價格並に一株當りの平均價格は左の通り。

	昨年同期
上場株式數	一、三一六、五五九千株	一、二八四、〇五三千株
同總價格	三一、三七、〇〇〇千弗	六〇、一四三、〇〇〇千弗
一株當平均價格	二四弗五五	四六弗八四

（備考）過去十二ヶ月の毎月一日現在の比較左の通り（單位株式總數千株、價格百萬ドル、一株當りドル）

	株式總數	總價格	一株當價格
昨年十月	一、二八四、〇五二	六〇、一四三	四六・八四
本年一月	一、二九六、七九四	四九、〇一〇	三七・八〇
二月	一、二九八、七〇七	五二、〇六二	四〇・〇九
三月	一、二九七、八七九	五七、〇五五	四三・九六
四月	一、二九八、九四二	五三、三三六	四一・〇八
五月	一、三〇四、七六六	四八、五七〇	三七・二三
六月	一、三〇五、五一七	四二、五三四	三二・五八
七月	一、三〇三、四八九	四七・四一七	三六・三八
八月	一、三〇三、二二一	四四、四二三	三四・〇九
九月	一、三一四、一〇〇	四四、五八七	三三・九三
十月	一、三一六、五五九	三二、三三七	二四・五五

ニューヨーク株式情報

ニューヨーク 十月五日(月)

土曜日の崩落の後をうけて本日のニューヨーク株式は更に一ドル乃至十ドル暴落。就中ユー・エス・スチールは六ドル安の六十二ドル半といふ一九一五年以來の新安値に墜落した。その他鐵道株、銅鐵株、化學工業株、煙草株も一齊に軟調を呈した。原因は左の通り。

一、土曜日の崩落で不安人氣が增大した事。
一、パリー株式市場の軟弱。
一、イギリスの總選擧懸念でロンドン市場が落付かない事。
一、海外からの賣り物が多額に上り、又內地筋の賣り物も續出した事。
一、カナダ、モントリールの一大株式店が支拂ひを中止した事。

一方諸株は今や全く買ひ時に達したと見る向もあるが、然し投資買ひは安値に於て僅かに警戒的に行はれてゐるに過ぎない。

債券市場も活潑乍ら相場は一般に續落した。

ニューヨーク 十月六日(火)

本日のニューヨーク株式は俄然大活況を呈し、諸株は二ドル乃至十六ドル大暴騰を演じた。原因は左の通り。

一、フーヴァー大統領が今夕大統領官邸で議會領袖と會見しその結果國際的協力による世界の景氣回復に關し重要なる聲明あるべしと觀られる事。
一、株式取引所が更に空賣り制限策を施した事。

仲買方面では右フーヴァー大統領聲明說について種々噂しつゝあるが、その內容については頗る莫然としてゐる。

大引に至り若干利喰ひ賣りが出たが、然しスチールは前日に比しなほ八ドル八分ノ三高で大引け、アチソントペカ鐵道は通常の三ヶ月間配當(二ドル半)を發表したので十三ドル奔騰、その他ノーフォークウエスターン鐵道、ウエスターンユニオン電信、アメリカ電話電信、ユニオンパシフイック鐵道、イーストマンコダック、オーバン自動車等は十ドル乃至十五ドル高、その他多くの一流株も六ドル乃至九ドル暴騰した。

金融機關設立案で債券市場好望

ニューヨーク 十月七日(水)

本日のニューヨーク株式は續騰後反落し取引も閑散になつたが、然し財界の人氣は依然良好である。

フーヴァー氏の經濟界安定案及びフランス首相との會議言明はウオール街に著しく好感を與へ、從來のヒステリー的財界の現狀を大いに改善するに至るべしと銀行家は見てゐる。

一方海外諸市場もニューヨークに連れて頗る强調を呈し、內地債券市場も昂騰、底意引續き聢りである。從來債券市場は銀行手持債券の手仕舞で頗る落付に乏しかつた然し今回の五億ドルの金融會社設立案は銀行援助を目的とするものであり、隨つて債券市場に著しく好影響を及ぼすものと見られる。蓋し多くの人々が一般的回復を期待してゐたのは債券市場であつたのである。

他方スエーデン及びノールウェー銀行の利下げ（孰れも八分から七分へ）は海外市場安定の徵候として好感を與へてゐる。

九月中の株の値下り

ニューヨーク 十月七日(水)

ニューヨーク株式取引所が十月一日現在の同取引所上場株式總價格を三百二十三億二千七百萬ドルと發表したことは前述の通りであるが、これを一ヶ月前の四百四十五億八千七百萬ドルに比べると實に百二十二億六千萬ドル(約二百四十億圓)の値下がりを見た譯である。

一年前の昨年十月一日に較べると二百七十八億ドル(約五百五十六億圓)と言ふ大値下がりである。

而も上場株式總數は增加してゐる。その結果一株當りの價格は九月一日の三十三ドル九十三セントから二十四ドル五十五セントに暴落した。昨年十月一日の一株當り四十六ドル八十四セントに比すれば二十二ドル以上の暴落に當る。

これを過去十ヶ年の同期並に最近十二ヶ月と比較すれば左の如し（單位百萬ドル）

	全アメリカ	內ニューヨーク
一月以降累計		
一九二一年	二七、五九一	二五六、三四〇
二二	三一、二四三	二八〇、四〇四
二三	三〇、四三九	三〇六、一二八
二四	三六、〇一六	三三〇、二九九
二五	四〇、七七	三七四、〇六二
二六	四〇、一〇八	三九〇、五二四
二七	四五、八五二	四〇六、一一五
二八	四九、三六七	四五八、六一〇
二九	五九、一三七	五三〇、三七一
三〇	四一、二一二	四二六、九〇六
三一	三一、一六五	三二四、七六〇
昨年 九月	四一、二一二	二五、四一〇
十月	四六、五二七	二八、八八四
十一月	三七、〇一九	三一、一八三
十二月	四三、二二三	二六、九六一
本年 一月	三九、七七九	二五、三〇〇
二月	三三、〇二四	二一、二二三
三月	三九、三九一	二六、一六八
四月	三九、九四七	二六、三八一
五月	三七、九一八	二四、九四四
六月	三九、三九	二六、〇二〇
七月	三四、八三	二一、九一六
八月	二九、三一五	一八、〇三九
九月	三一、一六五	一九、六六六

ニューヨーク聯銀利上

ニューヨーク 十月八日(木)

ニューヨーク聯邦準備銀行は本日公定割引歩合を一分半から二分半に引上げた。

準銀利上げとウオール街の觀測

ニューヨーク 十月八日(木)

ニューヨーク聯邦準備銀行が八日公定割引歩合を一歩半より二歩半に引上げたことはウオール街に意外の感を與へた。尤も一部有力銀行家の內には一歩半といふ率は不自然に安いと觀てゐたものもあつたのである。今回の利上げは目下設立中の五億ドルの金融機關を通じアメリカ銀行界を健實ならしめんとする大統領の計畫と關係があるものとウオール街では觀てゐる。

準銀續々利上げ

ニューヨーク 十月九日(金)

ニューヨーク聯邦準備銀行の利上げに連れてボストン聯邦準備銀行は本日公定割引歩合を二分より二分半に、又クリーヴランド聯邦準備銀行は二分半より三分に利上げした。

アメリカの金利一齊に引締る

ニューヨーク 十月九日(金)

ニューヨーク準銀が久しきに亘る低金利政策を放棄して昨夕一分半より二分半に利上げした事は著しくウオール街を驚愕せしめ、短期一流銀行引受手形の割引率は直ちに二分ノ一バーセント引上げられた。コール・マネーも二バーセントに騰貴し、商業手形割引率又四分ノ一バーセントに騰貴した。一方ボストン及びクリーヴランド準銀は本日各二分ノ一バーセント利上げした

アメリカ大統領鐵道株安定策を考究

ワシントン 十月九日(金)

フーヴァー大統領は目下鐵道株の安定策を考究中である。その理由は最近中西部諸州の數百の銀行は農業資金の需要、殊の結果鐵道株に投資してゐたのである後多數鐵道會社の收入減と共に鐵道株は奔落した。これがため各銀行は大統領その他如上の政府機關に對し一般の鐵道株の狀勢につき調査考究の上これが安定策を講ぜられんことを要求した。

なほ相互貯蓄組合は鐵道株下落を防止する手段として州際商業委員會の鐵道運賃一割五分値上げ請願に參加してゐる。

アメリカ九月中の手形交換高

ニューヨーク 十月十日(土)

ファイナンシアル・クロニクル誌調査、九月中のアメリカ手形交換高は左の通り。

全アメリカ	三一、一六五百萬ドル
內ニューヨーク	一九、六六六

アメリカ金融會社を設立

ニューヨーク 十月八日(木)

アメリカ大統領フーヴァー氏が產業振興金融梗塞救濟の目的を以て提議した資本金十億ドルの新金融會社は早くも八日午後一時ニューヨークの有力銀行團に依つて設立の手續を完了した。

新會社の名稱をナショナル・クレヂット・コーポレーションと決定その定款は九日デラウエー州で登錄される筈である。

而して新會社の株式がどの程度迄應募濟みであるかは未だ發表されないが參加を要請された全國各地の銀行は續々株式引受けを申出で、其成績は頗る滿足なものであると言はれてゐる。

なほ同金融プールは茲一ヶ月內に營業を開始するに至るものと豫期される

社長はバツクナー氏

ニューヨーク 十月九日(金)

國內諸銀行の固定資產に對する金融を目的として新に設立されたナショナル・クレヂット會社はその本店をニューヨークに置き、最高十億ドル迄の社債發行の權限を附與される事となつてゐる。而して右ナショナル・クレヂット會社の社長には現ニューヨーク・トラスト・カンパニー重役會長にしてニューヨーク手形交換組合會會長たるモーチマー・バツクナー氏が就任するであらうとウオール街では專ら豫想してゐる。當のバツクナー氏は本日左の如く聲明した。

新金融會社は全國の銀行が現行規定により準備銀行に於て再割引を受け得ざる不確實なる資產を基礎として金融を受ける必要に迫られた場合にこれに必要な融資を爲さんとするものである。

諸銀行の固定證券

ワシントン 十月九日(金)

財政次官ミルス氏は本日次の如く語つた。

新金融プールは目下着々進捗中である。この會社の組織準備はニューヨークに於て本日既に完了したが、現在再割引制度により聯邦準備所屬銀行の金庫內に凍結してゐる有價證券は約六十億ドルに達してゐる。今アメリカの約八千を算する諸銀行の證券保有高を示せば左の通り。

一、鐵道株 一、〇一六、三三二千ドル
二、公共事業會社株 一、一五五、八六四千ドル
三、州市町村公債 一、一五五、一五七千ドル
四、その他諸株式 一、二六五、八六六千ドル

アメリカ精煉會社減配

ニューヨーク　十月六日（火）

アメリカ第一の金物精煉會社アメリカン・スメルチング・アンド・リファイニング會社は年配當額を二ドルから一ドル半に減じた。

コロンビア・カーボン會社も五ドルより四ドルに減配する旨發表した。

モントリール株式仲買店又破綻

ニューヨーク　十月六日（火）

カナダ・モントリール株式取引所發表によればワシントン・チェムバース商會（Watson and Chambers）は本日支拂ひを停止した。これで二日間に三軒破綻した事になる。

ロンドン株式市況

ロンドン　十月八日（木）

今週のロンドン株式市場は種々の材料で影響せられたが、總選擧に關する不安が除かれたので、市場の人氣は一般に落付いて來た。

優等證券類は初め急騰したが、その後落付かない。これはボンド爲替動搖のためである。インド公債は大體に手堅い。外國諸證券は稍々不定で、ドイツ公債は特に動搖が激しかつた。これはドイツ國内の政局不安を移したためである。支那公債は鈍狀。然し日本公社債は稍手堅い。

工業株は概して上向歩調であるが、就中若し關税引上げが行はれた場合有利となるべしと觀られる諸株、特に紡織及び鐵鋼株が昂騰した。但し石油株は外國の相場浮動を眺めてハッキリしない。ゴム株は稍々手堅い。

ロンドン公社債相場

（日本公社債額面百ポンドに付）

	十月五日	八日
	磅	磅
第一回英貨公債四歩	六〇・二分一	六二・二分一
第三回同四・	五八・	五八・二分一
五分利付同五・	七三・二分一	七七・二分一
六分利付同六・	八九・二分一	八九・二分一
五分半利付同五・半	一〇六・	一〇六・
第四回滿鐵社債四・半	八三・	八四・
第十九回同五・	七五・二分一	七五・二分一
東京市事業公債五・	九二・二分一	九二・二分一
同新英貨公債五・半	八二・二分一	八二・四分三
同電氣事業公債五・	八〇・	八〇・
大阪市電鐵水道同五・	—七〇磅	—七〇磅
東京電燈新社債六・	八七・二分一	八七・二分一
第十三回興銀社債五・	八六・二分一	八七・
	九五・二分一	九二・二分一

ロンドン金融市況

ロンドン　十月八日（木）

政府の利拂いが多額に上つた結果市場の資金供給は頗る潤澤である。手形割引市場は引弛み、一方國庫債券の需要は良好である。

ベルリン株式取引所再開促進策

ベルリン　十月八日（木）

ベルリン株式取引所は九月廿一日イギリス金本位停止以來無期限休場を續けてゐるが、同取引所理事會は今週末期限が到來する總ての長期契約の決濟はこれを十月廿一日迄延期し、金利は九月と同樣据置くことゝなつた。

一方ライヒスバンクの請求に基きベルリン銀行組合は株式取引所が再開する迄外國の註文によるドイツ證券の賣却はこれを行ばざるに決した。又株式仲買人は取引所休場以來相互に電話で取引をしてゐたのであるが、今回若し銀行が同樣の措置に出る事を承知するならばこの種の取引を全然中止してもよいといふに決した。斯く電話による賣買が全然中止となれば株式取引所再開の機運は勢ひ促進さるものと期待されてゐる。

ドイツ公債相場

（ロンドンに於けるドイツ七分利付公債）

十月五日	五九磅	八日	六〇磅
六日	五八・	十日	六一・
七日	五九・二分一		

フランス銀行の利上

パリ　十月九日（金）

フランス銀行は本日公定割引歩合を二分から二分半に引上げた。

スエーデン銀行利下

ストックホルム　十月七日（水）

スエーデン銀行は明日より公定割引歩合を八分から七分に引下げる事となつた。同行は去る九月廿七日六分から八分に利上げした許りである。

ノールウエー銀行利下

オスロー　十月七日（水）

ノールウエー國立銀行は明日から公定割引歩合を八分から七分に引下げる事となつた。同行はイギリスの金本位制停止後去る九月廿七日六分から八分に引上げて今日に及んだものである。

日本銀行の利上げ

日本銀行では今回左の如く公定割引日歩を一律に二厘引上げ六日より實施する旨發表した。

一、商業手形割引歩合日歩一錢六厘
一、國債を抵當とする貸付利子及び國債を保證とする手形割引歩合日歩一錢七厘以上
一、國債以外のものを抵當とする貸付利子及び國債以外のものを保證とする手形割引歩合日歩一錢八厘以上
一、當座貸越及びコレスポンデンス貸越利子日歩二錢

爲替・銀塊

ロンドン外國爲替市況

ロンドン　十月八日（木）

外國爲替市場は政局不安によつて依然影響されてゐるが、相場の動きは狹くなつた。支那及び日本爲替は落付かない。

イギリス政府ポンド貨を百フランに安定せん

パリー　十月七日（水）

フランス政府筋の確實なる情報によれば、今朝パリーに到着したイギリス外相レディング卿はフランス當局との會議に於てイギリスは總選擧の終了次第ポンド貨を約本日の相場程度に安定せしむる計畫であると言明した。即ち一ポンドを百フラン（約八圓）見當に安定せしめんとするもので、平價より約二割減である。之に對しフランス當局はイギリス政府が此方策に出づるのは同國の經濟安定上必要であるから、此目的を達する樣與ふ限りの助力を爲すべき事を約した。

オーストリーの爲替管理

ウヰン　十月八日（木）

本日オーストリー政府は國立銀行に對して外國爲替取引の獨占を許可する旨公布した。

正金銀行の現送

八日正金銀行は日本銀行本店に於て正貨千五百萬圓を兌換し、横濱出帆の日本郵船淺間丸に積込み桑港向け現送した。

ロンドン銀塊市況

ロンドン　十月七日（水）

△サミュル・モンタギュー商會

月曜の相場昂騰の結果、市場は買ひ過ぎの傾向となり、高値には支那筋及び思惑筋の轉賣品が出た。一方アメリカ筋も爲替好轉と共に旺んに賣り物を出す樣になつた。取引は稍閑散。氣配は目下落付模樣であるが、然し先行は頗るハッキリしない。

ロンドン　十月八日（木）

△モーカッタ・ゴールドスミッド商會

商内は稍小口であつたが、インドの空賣り筋は買ひ埋め又地場思惑筋は先物を買つた。支那及びアメリカは何れも買つたり賣つたりした。然し過去二週間に亘つて出されてゐた香港筋の賣い物は止んだ。

底意の手堅いのは滿洲の形勢が強氣的に觀られてゐる爲であるが、同時に市場は米英爲替の動きに敏感である。從つて目先の形勢は幾分ハッキリしない。

金物

ニューヨーク金物市況

ニューヨーク　十月七日（水）

△鋼鐵　製鋼會社の作業率は今週二割九分に減退したが、然し自動車、レール、石油輸送管の需要は多少見直すものと觀られてゐる。

△銑鐵　鈍狀。且つ落付に乏しい。

△銅　閑散。然し最近外國からの需要が相當見直した。殊に目下の値頃で明年初め渡しの買ひ引合が出てゐるが、賣り物は少い。

△錫　ボンド爲替の下落につれて市況は引弛みを呈してゐる。一方買ひ物は地場商人筋に局限せられてゐるが、賣り手も賣り焦らない。

△鉛　引弛。需要は少い。之は相場に對する確信が缺けてゐるためである。

△亞鉛　需給統計不振を眺めて相場は下落した。

△安價母尼　鈍狀。然し賣り手は聢りの態度を持してゐる。

ニューヨーク金物相場

十月五日（月）　（ピッツバーグ渡）

銑鐵第二號鑄物用（一トン）　一六弗〇〇仙

ビレッツ（ベスマ、同）　二九弗〇〇仙
スチール・バー（ベスマ、百封度）　一弗六〇仙
スチール・ルシエーブス（同、同）　一弗六〇仙
ダンク・プレート（同、同）　一弗六〇仙
ブラックシート（廿四番同）　二弗四〇仙
亞鉛引シート（同、同）　二弗九〇仙
鉛力（プライム・ペース、ボックス、一箱）　四弗七五仙

十月八日（木）

海峽錫（一口一車廿五トン c.i.f. 紐育）　三三仙四分一
亞鉛（一口一車プライム・ウエスタン f.o.b. 聖路易渡）　三仙二分一
鉛（一口一車紐育渡）　四仙
安價母尼（一口一車廿五トン關税濟 f.o.b. 紐育）　六仙八分五

（電氣銅相場は第五頁に掲載）

アメリカ九月中の鐵生産高

ニューヨーク　十月十日（土）

アイアン・エーヂ誌の發表によれば本年九月中のアメリカに於る銑鐵生産高は百十六萬九千トンとなり、八月に比し更に十一萬二千トンの激減を示した。これは一九二一年（大正十年）九月來の最少額である。一九二一年九月の銑鐵生産高は九十八萬六千トン。

又アメリカ鐵鋼協會發表、本年九月中の同國鋼鐵生産高は百五十四萬八千トンで前月より十七萬一千トンの減少を示し、これまた一九二一年十二月（同月の生産高は百四十二萬七千トン）以來の最少記錄を作つた。

本年一月から九月迄の累計を昨年同期に較べると左の通りで、銑鐵は四割二分減、鋼鐵は三割七分減である（單位千トン）

	銑鐵	鋼鐵
昨年一—九月累計	二五、七〇二	三二、四〇一
本年一—九月累計	一五、〇一九	二〇、四二一

昨年九月迄の累計を昨年同期に較べると左の通りで（單位千トン）

	銑鐵	鋼鐵
昨年九月	二、二七七	二、八四〇
本年一月	一、七一四	二、四五九
二月	一、七〇七	二、五〇二
三月	二、〇三二	二、九九四
四月	二、〇三〇	二、七三二
五月	一、九九四	二、五〇五
六月	一、六三九	二、〇七六
七月	一、四六三	一、八八六
八月	一、二八一	一、七一九
九月	一、一六九	一、五六八

ユー・エス・スチール九月末鋼鐵註文殘高

ニューヨーク　十月十日（土）

九月末に於けるユー・エス・スチール會社の鋼鐵註文殘高は三百十四萬五千トンである。之を過去十二ヶ年の同期並に最近十二ヶ月と比較すれば左の通り（單位千トン）

過去十二ヶ年		
一九一九年九月	六、二五五	三、二二四
二〇年同	一〇、三七五	三、四八二
二一年同	四、五六一	十一月　三、六四〇
二二年同	六、六九二	十二月　三、六四四
二三年同	五、〇〇六	本年一月　四、一三二
二四年同	三、四七四	二月　三、九六五
二五年同	三、七一七	三月　三、九九五
二六年同	三、五九四	四月　三、八九八
二七年同	三、一一八	五月　三、六二〇
二八年同	三、六二八	六月　三、四七九
二九年同	三、九〇三	七月　三、四〇五
三〇年同	三、四二四	八月　三、一六九
三一年同	三、一一四五	九月　三、一四五

ロンドン金物市況

ロンドン　十月九日（金）

各市場共に依然殆ど全くボンド爲替の變動によつて左右された。

△銅　相場は浮動したが概して聢り。然し先行はハッキリせず、減産案に關する情報が待たれつゝある。

△錫　金本位停止以來割安であるのとボンド爲替見直しで若干の買ひ物及び買ひ埋めが出た。然し市場の氣配は神經過敏である。一方イギリスの鉄力業は頗る活潑で、世界各地よりの買ひ引合多量に上つてゐる。

△鉛　在荷嵩みを見越して買ひ物薄。

△亞鉛　亞鉛引業者の需要は增加したが市場は頗る落付かない。

△銑鐵　消費側買ひ急ぎ、ストクッ減退しつゝある。

△鋼鐵　輸出向商談遇々としてゐるが支那向引合は相當ある。

△鉄力、黑板　取引漸增、相場强調。

ロンドン鐵類相場

十月十日（土）　蘇格蘭　東北岸

アイアン・クラウンバー	九磅二分一
アイアン・ヤングル	九磅四分三
アイアン・テイース	九磅四分三
スチール・シツプ・プレート	一〇磅
ボイラー・プレート	七磅四分三
スチール・アングル	一〇磅
スチール・ジョイスト	七磅八分三
レール	七磅八分三
シエーフイルド・スチール・ビレッツ	七磅八分三
〔ソフト現物〕	六磅四分一
〔ハード同〕	七磅八分一—八磅八分五
リーヴランド・スクラップ	
〔ヘビー・スチール〕	三七志二分一
〔ヘビー・カストアイアン〕	四〇志
銑鐵（グラスゴー第三號上物）	—四二志
同（グリヴランド第三）	六八志二分一
〔號鑄物用輸出品〕	五八志二分一
ブラックシート〔東北岸本船渡〕	一〇磅
〔一東百七封度〕	

場相物金

十月

	十	十九	十八	十七	十六	五
	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
	土	金	木	水	火	月

シドンロ

	十	十九	十八	十七	十六	五
標準銅（一噸） 現物	三四・六六	三四・六六	三四・六六	三四・六六	三四・六六	三四・六六
先物	三四・六六	三四・六六	三四・六六	三四・六六	三四・六六	三四・六六
電氣銅（一噸） 買手	四一・四〇	四一・四〇	四一・四〇	四一・四〇	四一・四〇	四一・四〇
賣手	四二・四〇	四二・四〇	四二・四〇	四二・四〇	四二・四〇	四二・四〇
標準錫（一噸） 現物	二五八・六〇	二五八・六〇	二五八・六〇	二五八・六〇	二五八・六〇	二五八・六〇
先物	二五八・六〇	二五八・六〇	二五八・六〇	二五八・六〇	二五八・六〇	二五八・六〇
亞鉛（一噸） 現物	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇
先物	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇
鉛（一噸） 現物	三八・六〇	三八・六〇	三八・六〇	三八・六〇	三八・六〇	三八・六〇
先物	三八・六〇	三八・六〇	三八・六〇	三八・六〇	三八・六〇	三八・六〇

クーヨーユニ

	十	十九	十八	十七	十六	五
	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
	土	金	木	水	火	月
電氣銅（一噸）	休	七一・〇〇	七一・〇〇	七一・〇〇	七一・〇〇	七一・〇〇

場相蓉爲國外

十月

	十	十九	十八	十七	十六	五
	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
	土	金	木	水	火	月

イベンボ

	十	十九	十八	十七	十六	五
電信爲替銀行賣 ロンドン（一磅）	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇
ニューヨーク（一弗）	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
巴里（一佛）	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六
伯林（一馬）	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八
日本（一圓）	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇
上海（一弗）	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇
出來値 ロンドン（一磅）	休	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇
ニューヨーク（一弗）		一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
巴里（一佛）		三・六六	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六
伯林（一馬）		二・三八	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八
日本（一圓）		四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇
上海（一弗）		三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇

海上

	十	十九	十八	十七	十六	五
	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
	土	金	木	水	火	月
電信爲替銀行賣 ロンドン（一磅）	休	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇
ニューヨーク（一弗）		一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
巴里（一佛）		三・六六	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六
伯林（一馬）		二・三八	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八
日本（一圓）		四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇
上海（一弗）		三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇

港香

	十	十九	十八	十七	十六	五
	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
	土	金	木	水	火	月
電信爲替出來値 ロンドン（一磅）	休	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇
ニューヨーク（一弗）		一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
巴里（一佛）		三・六六	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六
伯林（一馬）		二・三八	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八
日本（一圓）		四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇
上海（一弗）		三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇

ルーボガンシ

	十	十九	十八	十七	十六	五
	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
	土	金	木	水	火	月
電信爲替出來値 ロンドン（一磅）	休	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇
ニューヨーク（一弗）		一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
巴里（一佛）		三・六六	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六
伯林（一馬）		二・三八	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八
日本（一圓）		四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇
上海（一弗）		三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇

クーヨーユニ

	十	十九	十八	十七	十六	五
	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
	土	金	木	水	火	月
電信爲替銀行賣 ロンドン（一磅）	三四・六六	三四・六六	三四・六六	三四・六六	三四・六六	三四・六六
ニューヨーク（一弗）	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
巴里（一佛）	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六
伯林（一馬）	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八
日本（一圓）	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇
上海（一弗）	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇
電信爲替銀行賣 ロンドン（一磅）	休	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇
ニューヨーク（一弗）		一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
巴里（一佛）		三・六六	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六
伯林（一馬）		二・三八	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八
日本（一圓）		四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇
上海（一弗）		三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇

シドンロ

	十	十九	十八	十七	十六	五
	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
	土	金	木	水	火	月
電信爲替銀行賣 アメリカ（一磅）	三八・四〇	三八・四〇	三八・四〇	三八・四〇	三八・四〇	三八・四〇
上海（一兩）	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
電信爲替出來値 ロンドン（一磅）	休	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇
ニューヨーク（一弗）		一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
巴里（一佛）		三・六六	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六
伯林（一馬）		二・三八	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八
日本（一圓）		四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇
上海（一弗）		三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇
電信爲替銀行賣 ロンドン（一磅）	休	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇	三五・四〇
ニューヨーク（一弗）		一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇	一〇〇・〇〇
巴里（一佛）		三・六六	三・六六	三・六六	三・六六	三・六六
伯林（一馬）		二・三八	二・三八	二・三八	二・三八	二・三八
日本（一圓）		四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇	四九・四〇
上海（一弗）		三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇	三五・〇〇

場相債社公

十月

	十	十九	十八	十七	十六	五
	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
	土	金	木	水	火	月

クーヨーユニ

	十	十九	十八	十七	十六	五
日本利六分（百弗）	九九・四〇	九九・四〇	九九・四〇	九九・四〇	九九・四〇	九九・四〇
同五分利新（百弗）	九〇・〇〇	九〇・〇〇	九〇・〇〇	九〇・〇〇	九〇・〇〇	九〇・〇〇
東京市利（百弗）	八二・三〇	八二・三〇	八二・三〇	八二・三〇	八二・三〇	八二・三〇
横濱市利（百弗）	八六・四〇	八六・四〇	八六・四〇	八六・四〇	八六・四〇	八六・四〇
東拓五割（百弗）	七三・〇〇	七三・〇〇	七三・〇〇	七三・〇〇	七三・〇〇	七三・〇〇
東京電力（百弗）	七四・〇〇	七四・〇〇	七四・〇〇	七四・〇〇	七四・〇〇	七四・〇〇
大同電力（百弗）	六四・四〇	六四・四〇	六四・四〇	六四・四〇	六四・四〇	六四・四〇
東京瓦斯（百弗）	六三・〇〇	六三・〇〇	六三・〇〇	六三・〇〇	六三・〇〇	六三・〇〇
東電新（百弗）	六四・〇〇	六四・〇〇	六四・〇〇	六四・〇〇	六四・〇〇	六四・〇〇
力七分利電（百弗）	七五・〇〇	七五・〇〇	七五・〇〇	七五・〇〇	七五・〇〇	七五・〇〇
力七分利（百弗）	七四・〇〇	七四・〇〇	七四・〇〇	七四・〇〇	七四・〇〇	七四・〇〇
東邦電力（百弗）	八四・〇〇	八四・〇〇	八四・〇〇	八四・〇〇	八四・〇〇	八四・〇〇
宇治電力（百弗）	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇
日本電力（百弗）	八三・〇〇	八三・〇〇	八三・〇〇	八三・〇〇	八三・〇〇	八三・〇〇
東電利六分（百弗）	八二	八二	八二	八二	八二	八二

場相式株

十月

	十	十九	十八	十七	十六	五
	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖	⊖
	土	金	木	水	火	月

クーヨーユニ

	十	十九	十八	十七	十六	五
ルスチー（百弗）	六八・〇〇	六八・〇〇	六八・〇〇	六八・〇〇	六八・〇〇	六八・〇〇
シンダナコ（五弗）	二四・三〇	二四・三〇	二四・三〇	二四・三〇	二四・三〇	二四・三〇
鐵道株（平二十種均）	五七・四〇	五七・四〇	五七・四〇	五七・四〇	五七・四〇	五七・四〇
紡織株（平三十種均）	五四・〇〇	五四・〇〇	五四・〇〇	五四・〇〇	五四・〇〇	五四・〇〇
工業株（平三十種均）	九二・〇〇	九二・〇〇	九二・〇〇	九二・〇〇	九二・〇〇	九二・〇〇
八幡製鐵（百）	八六・四〇	八六・四〇	八六・四〇	八六・四〇	八六・四〇	八六・四〇
八幡製鐵（新）	八一・八〇	八一・八〇	八一・八〇	八一・八〇	八一・八〇	八一・八〇
リモンワード（株）	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇	二四・四〇
ゼネラルモータース（十株）	二三・八〇	二三・八〇	二三・八〇	二三・八〇	二三・八〇	二三・八〇
コーチオ（株）	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇	二四・〇〇
ラジオ（新株）	二三・四〇	二三・四〇	二三・四〇	二三・四〇	二三・四〇	二三・四〇
シーボレー（十株）	二三・八〇	二三・八〇	二三・八〇	二三・八〇	二三・八〇	二三・八〇
出來高	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇

大阪

	十	十九	十八	十七	十六	五
鐘紡 當限	一四五〇〇	一四五〇〇	一四五〇〇	一四五〇〇	一四五〇〇	一四五〇〇
鐘紡 先限	一四六〇〇	一四六〇〇	一四六〇〇	一四六〇〇	一四六〇〇	一四六〇〇
大株 當限	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇
大株 先限	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇
新株 當限	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇
新株 先限	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇	六六〇〇
郵船 當限	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇
郵船 先限	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇	三〇〇〇

場相塊銀金

シドンロ

	十	十九	十八	十七	十六	五
銀塊現物（一オンス建）	二七・六六	二七・六六	二七・六六	二七・六六	二七・六六	二七・六六
同先物（一オンス建）	二七・七六	二七・七六	二七・七六	二七・七六	二七・七六	二七・七六

クーヨーユニ

	十	十九	十八	十七	十六	五
公表相場（一オンス建）	二七・六六	二七・六六	二七・六六	二七・六六	二七・六六	二七・六六
同上値（一オンス建）	二七・九六	二七・九六	二七・九六	二七・九六	二七・九六	二七・九六

イベンボ

	十	十九	十八	十七	十六	五
英國銀（百トラム）	五七・四〇	五七・四〇	五七・四〇	五七・四〇	五七・四〇	五七・四〇
塊金	休	五七・四〇	五七・四〇	五七・四〇	五七・四〇	五七・四〇

海上

	十	十九	十八	十七	十六	五
引渡金（一兩）	休	六三・〇〇	六三・〇〇	六三・〇〇	六三・〇〇	六三・〇〇
値所業（一兩）		七四・〇〇	七四・〇〇	七四・〇〇	七四・〇〇	七四・〇〇

場相債社公

場相塊銀金

場相蓉爲國外

場相物金

場相式株

場相建銀金正

場相式株

場相債社公

場相蓉爲國外

場相物金

昭和六年十月四日——十日發信

（昭和六年十月四日——十日發信）

棉花相場

クーヨーユニ

新約定（一封度建）

十月	十月限	十二月限	一月限	三月限	五月限	七月限	現物
五	五・三四	五・五一	五・五〇	五・七八	五・九八	六・一五	五・五〇
六	五・五九	五・八二	五・九二	六・〇九	六・三一	六・四六	五・八五
七	五・六八	五・七一	六・〇一	六・二〇	六・三七	六・四七	五・七七
八	五・五九	五・七九	五・九二	六・〇九	六・二八	六・四六	五・八五
九	五・五五	五・七七	五・八九	六・〇八	六・二八	六・四六	五・八〇
十	五・七九	五・九一	六・〇四	六・二一	六・四〇	六・五六	五・九五

ルーブアヴリ

（一封度建）

十月	一月限	二月限	三月限	現物
五	四・〇六	四・〇六	四・一〇	四・〇〇
六	四・〇六	四・〇五	四・一四	四・〇六
七	四・〇九	四・一七	四・一八	四・一〇
八	四・一三	四・一七	四・二二	四・一〇
九	四・一三	四・二一	四・二一	四・一〇
十	四・一三	四・二一	四・二一	四・一〇

アレキサンドリヤ

（一カンタール アシモニ建）

十月	十一月限	十二月限
五	一三・六〇	九・〇五
六	一三・七三	八・六九
七	一三・〇四	八・五二
八	一三・一七	八・八三
九	休	八・九五
十	一三・二〇	八・四〇

ボンベイ

（一キャンデー ボムラ）

十月	十二月渡	一月渡
五	一三・三	一〇・二分一
六	一三・〇四	一〇・二分一
七	一三・二分一	一〇・二分一
八	休	—
九	一三・六	一〇・四分一
十	一三・四分一	一〇・四分一

ブローチ

（一キャンデー）

十月	四、五月渡
五	一六・二分一
六	一六・四分一
七	一六・六
八	一六・二分一
九	一六・四分一
十	一六・四分一

大阪

米棉十俵（三十六擔）建

十月	十月限	十二月限	一月限	二月限	三月限	四月限
五	一八・五五	一九・二五	一九・五五	一九・五五	一九・五五	一九・五五
六	一八・四五	一九・〇〇	一九・三〇	一九・四五	一九・四五	一九・四五
七	一九・四五	一九・五五	一九・八五	二〇・〇〇	二〇・〇〇	二〇・〇〇
八	一八・四〇	一九・四〇	一九・四〇	二〇・〇五	二〇・一〇	二〇・一〇
九	一八・五五	一九・五五	一九・五五	二〇・七五	二〇・一五	二〇・三五
十	一八・二五	一八・八五	一九・二〇	一九・九五	二〇・四〇	二〇・四〇
			一九・三五	一九・五五	二〇・四五	二〇・四五
			一九・七〇	一九・八五	二〇・六〇	二〇・六〇
				一九・九五	二〇・八五	二〇・八五
					二〇・三〇	二〇・三〇
					二〇・七五	二〇・七五

生絲相場

クーヨーユニ

（定期買値、一封度建）

十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限	四月限	五月限	出來高
五	二・二八	二・二三	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二〇	七一〇
六	二・二四	二・二七	二・二七	二・二七	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五	六〇〇
七	二・二〇	二・二一	二・二七	二・二四	二・二三	二・二五	二・二五	二・二五	八四〇
八	二・二八	二・二六	二・二四	二・二六	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五	六〇〇
九	二・二八	二・二三	二・二四	二・二四	二・二三	二・二五	二・二四	二・二四	七八〇
十	二・二三	二・二六	二・二五	二・二三	二・二三	二・二五	二・二四	二・二四	二四〇

市中相場

	十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限	四月限	五月限
ベスト十四中	五	二・二五	二・二五	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一
スクラッXXXX十四中	六	二・二七	二・二七	二・二七	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五
同廿一中	七	二・二七	二・二七	二・二七	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五
黄廿一中	八	二・二七	二・二七	二・二七	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五
同ドXXX	九	二・二七	二・二七	二・二七	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五
白グランXXXX	十	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五	二・二五
日本糸XXXXXXシカルXB	五	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一
日本糸XXXXXXXA	六	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一
伊國糸XXクラXXXXXXXA	七	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一
支那糸	八	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一
廣東糸	九	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一
	十	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一	二・二一

濱横

機械太一番（上一番格）十斤建

十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限
五	五七・五〇	五八・〇〇	五八・五〇	五八・五〇	五八・六〇	五八・五〇
六	五七・五〇	五八・三〇	五八・五〇	五八・六〇	五八・六〇	五八・五〇
七	五七・五〇	五八・一〇	五八・七〇	五九・〇〇	五九・〇〇	五九・三〇
八	五八・九〇	五八・五〇	五八・四〇	五八・五〇	五八・六〇	五九・三〇
九	五八・二〇	五八・二〇	五八・三〇	五八・六〇	五八・九〇	五九・三〇
十	五七・一〇	五八・〇〇	五八・三〇	五八・四〇	五七・八〇	五八・四〇
	五七・一〇	五八・八〇	五八・三〇	五八・四〇	五八・五〇	五八・五〇
	五七・三〇	五八・〇〇	五八・五〇	五八・五〇	五八・六〇	五八・六〇

大阪糸綿

一梱建（四百封度）

十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限	四月限
五	九〇・二〇	九一・六〇	九三・二〇	九四・五〇	九四・六〇	九五・〇〇	九四・七〇
六	八九・六〇	九二・四〇	九四・一〇	九五・〇〇	九六・四〇	九六・四〇	九六・四〇
七	八九・六〇	九一・六〇	九三・二〇	九四・五〇	九五・九〇	九八・九〇	九八・九〇
八	九四・九〇	九三・〇〇	九四・五〇	九八・九〇	九八・九〇	九八・九〇	九八・九〇
九	九四・九〇	九七・六〇	九八・五〇	九八・九〇	九七・〇〇	九七・〇〇	九七・〇〇
十	九一・四〇	九三・九〇	九五・七〇	九八・九〇	九四・六〇	九四・六〇	九四・六〇
	九一・五〇	九三・〇〇	九四・〇〇	九四・〇〇	九四・〇〇	九五・〇〇	九四・八〇
	九一・二〇	九三・〇〇	九四・六〇	九四・六〇	九四・六〇	九四・六〇	九四・六〇

砂糖相場

クーヨーユニ

十月	出來値（玖馬十月積）	定期（一封度）十二月限	三月限	五月限	九月限
五	一・十六分七	一・三六	一・三四	一・三九	一・四六
六	一・十六分七	一・四〇	一・三六	一・四〇	一・四八
七	一・十六分七	一・三七	一・三五	一・三七	一・四五
八	一・十六分七	一・三九	一・三七	一・三九	一・四六
九	一・十六分七	一・四〇	一・三六	一・三八	一・四四
十	休	—	—	—	—

ロンドン

粗糖（ヒート八八度品）

十月	十月渡	十二月渡	三月渡
五	六・〇四	六・〇五	六・〇八・四分一
六	六・〇〇	六・〇〇	六・〇七・四分一
七	六・〇三	六・〇三	六・〇九・四分一
八	六・〇三・四分三	六・〇九・二分一	六・一〇・四分一
九	六・〇九・二分一	六・一〇・四分一	六・一〇・四分一
十	六・〇四・二分一	六・〇九	六・一一・四分一

ヤバラス

轉賣市場出來値、白双百基瓦建、（△印買値）

十月	直渡	十月渡	十一月渡	十二月渡	一月渡
五	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一
六	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一
七	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一
八	休	—	—	—	—
九	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一
十	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一	七・二分一

大阪

分蜜糖保稅品（百斤建）

十月	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限	三月限
五	八・三八	八・四八	八・五八	—	—	—
六	八・三四	八・四五	八・五四	—	—	—
七	八・四八	八・五九	八・七一	—	—	—
八	—	八・六六	八・七五	—	—	—
九	—	八・五五	八・七三	—	—	—
十	—	八・六四	八・七七	—	—	—

上海糸綿

右十六手（一梱建）

十月	十月限	三月限
五	一六二・〇	一六二・三
六	一五九・〇	一五九・二
七	一六一・〇	一六一・三
八	一六一・〇	一六一・三
九	一六〇・八	一五九・九
十	休	—

護謨相場

ロンドン

（一封度）

十月	現買手	現賣手	十、十一、十二月渡買手	十、十一、十二月渡賣手
五	二・八分七	三	三・六分一	三・八分一
六	二・八分七	二・十六分十五	三・十六分一	三・八分一
七	二・十六分十五	三・十六分一	三・八分一	三・八分一
八	二・十六分十五	三・十六分一	三・十六分三	三・八分一
九	三・十六分一	三・八分一	三・七分一	三・四分一
十	三・十六分一	三・十六分三	三・十六分一	三・四分一

クーヨーユニ

（一封度）

十月	現買手	現賣手	十、十一、十二月渡買手	十、十一、十二月渡賣手
五	四・十六分九	四・四分三	四・十六分十一	四・十六分十五
六	四・四分三	五	四・八分七	五・十六分一
七	四・二分一	四・十六分十一	五・十六分一	五・十六分一
八	四・十六分十三	四・十六分一		
九	五・十六分一			
十	五・十六分一			

ルーポガンシ

十月	現物	十、十一、十二月渡
五	八・二分一	九・八分一
六	八・二分一	九・四分一
七	八・八分五	九・四分一
八	八・八分五	九・四分一
九	八・八分五	九・二分一
十	九	九・八分五

油脂相場

クーヨーユニ

十月	棉實油（一封度）十月限	一月限
五	四・一五	四・二五
六	四・三五	四・五四
七	四・四〇	四・四五
八	四・五二	四・五七
九	四・五五	四・六四
十	四・六三	四・七二

ロンドン

十月	亞麻仁油（倫敦渡百二十封度）十、十二月渡	一、四月渡
五	一六・八分一	一七・二分一（賣手値段で出來値）
六	一五・二分一	一六・四分三
七	一五・八分三	一六・八分七
八	一五・八分三	一七
九	一五・八分五	同（賣手値段で出來値）
十	一五・八分三	賣手

ロンドン亞麻仁

十月	ラプラタ（百二十封度）十月積
五	八・十六分九
六	八・二分一
七	八・八分三
八	八・十六分七
九	八・十六分九
十	八・八分五

賣手
同
同
同
同
同
同

袋麻タツカルカ

本船直渡（百枚建）

十月	鐵筋	青筋
五	二五・二分一	二八・八分三
六	二五・二分一	二八・十六分五
七	二五・八分一	二八
八	二五	二七・四分三
九	二五・八分一	二七・八分七
十	二五・二分一	二八・十六分七

小麥相場

シカゴ

十月	十二月限	五月限	七月限	取引出來高（千ブッセル）
五	四四・八分七	四九・四分一		二〇、〇〇〇
六	四七	五一・四分一		二〇、〇〇〇
七	四六・四分一	五〇・四分一		二〇、〇〇〇
八	四八・四分三	五二・四分三		三〇、〇〇〇
九	五〇・八分一	五三・八分七		三〇、〇〇〇
十	五〇・八分一	五四・四分一		三〇、〇〇〇

シルトヤ

（一ブッセル建）

十月	十二月限	五月限
五	四八・四分一	五一
六	四九・二分一	五二・二分一
七	四八・四分三	五一・四分三
八	五〇・二分一	五三・二分一
九	五〇・八分五	五三・八分五
十	五一・八分五	五四・四分三

ドンラトーボ

（一ブッセル建）

十月	十二月渡	五月渡
五	四八・八分一	五一・四分三
六	四九	五一・四分三
七	四七・八分七	五一・四分三
八	五〇	五二・二分一
九	五〇・八分一	五三・二分一
十	五〇・二分一	五三・二分一

グツベニイウ

（一ブッセル建）

十月	十月限	十二月限	五月限
五	五二	五二・二分一	五六・二分一
六	五三・八分三	五五・八分七	五七・八分五
七	五二・二分一	五四・四分三	五六・二分一
八	五三・八分一	五三・八分一	五七
九	五三・四分三	五三・二分一	五七・二分一
十	五四・八分一	五四・八分一	五八・八分三

ルーブアヴリ

百封度建

十月	十月限	十二月限	三月限
五	五一	五三・四分三	五六・二分一
六	五〇・四分三	五三・八分五	五六・二分一
七	五一・八分一	五四・四分一	五七・八分一
八	五二	五五	五八
九	五三・四分一	五五・八分一	五九
十	五三・四分三	五六・八分五	五九・八分五

メルボルン

（ヴィクトリヤ産品本船）

十月	十月渡
五	三三
六	三三
七	三三
八	三三
九	三三
十	三三

上海小麥粉

四十九封度建

十月	十月限	十二月限
五	一九・九五七五	一九・九〇〇
六	一九・九三五	一九・九七五
七	一九・〇七五	一九・九二七五
八	一九・一〇〇	一九・九三二五
九	一九・二二五	一九・九〇七五
十	休	—

大連特産

豆粕

（十四日限（一枚銀建）△印前引）

十月	現物	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限
五	一・七六〇	一・七六〇	一・七七	一・七八〇	一・七八五	一・八〇〇
六	一・七六〇	—	一・七七五	一・七八五	一・七七五	一・七九〇
七	一・七五〇	—	一・七六五	一・七七〇	一・七七〇	一・七八〇
八	一・七六〇	△一・七六〇	一・七七〇	一・七八〇	一・七八五	△一・七八五
九	一・七六〇	—	—	一・七八〇	△一・七八〇	一・八〇〇
十	休	—	—	—	△一・七九〇	一・八〇五

大豆

（月末限（百斤銀建）△印前引）

十月	現物	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限
五	五・三五	五・三五	五・三九	五・四一	五・四三	五・四七
六	五・三一	五・三一	五・三四	五・三六	五・三六	五・三八
七	五・二三	五・二三	五・二九	五・二九	五・二一	五・二五
八	五・二一	五・二二	五・二九	五・二八	五・三三	五・三三
九	休	五・二五	五・二二	五・二七	五・三七	五・三五
十		五・三〇	五・二一	五・三〇	五・三七	五・三九

大豆油

（十四日限（百斤銀建）△印前引）

十月	現物	十月限	十一月限	十二月限	一月限	二月限
五	一四・五〇	一四・五〇	一四・八〇	△一五・〇〇	△一四・九五	一五・〇〇
六	△一四・二〇	一三・六〇	一三・三〇	△一四・八五	△一四・五〇	一四・三五
七	一三・一〇	一三・一〇	一三・六〇	△一三・六〇	一三・七〇	一三・八五
八	一三・三〇	一三・四〇	一三・七〇	一三・七五	一三・九〇	一四・一〇
九	一三・五〇	一三・五〇	一三・八五	一三・九〇	一四・一〇	一四・二五
十	休	—	—	—	—	—

大連銀票

（日本金百圓建）

十月	十月限	廿八日限
五	四七・七五	—
六	四七・四〇	四七・五〇
七	四八・五〇	四八・六五
八	四八・二〇	四八・三五
九	四九・七〇	四九・九〇
十	休	—

大阪期米

（一石建）

十月	十月限	十一月限	十二月限
五	一九・二〇	一九・七六	二〇・一〇
六	一九・八〇	一九・六七	二〇・五九
七	二〇・一〇	一九・八二	二〇・一三
八	一九・五一	一九・七四	二〇・〇三
九	一九・四五	一九・九七	
十	一九・四一		

（昭和六年十月四日——十日發信）

棉花・綿絲布

ニューヨーク棉花市況

ニューヨーク 十月十七日（土）

棉花相場は今週著しく引戻した。これは株式見直しと、フーヴァー案が一般經濟界に好影響を與へるものと期待されたためである。尤も高値には南部筋の賣り物が幾分增加したが、押目には空賣りの買ひ埋め及び實需買ひ出で賣り物は容易に消化された。

一方政府の收穫豫想は一般の期待よりも著しく多かつたが、相場は空賣りの買ひ埋め再發で引締つた。注目されてゐた五セント半の相場が出現したので實需は著しく增加し、又思惑筋の買ひ氣も增大した。

相場の先行に對する確信は屢々披瀝されてゐるが、然し新棉の大部分が販賣されて了ふ迄果して著しい回復を見せるかどうか依然疑問視されてゐる。

最近東部及び中部地方に少量乃至多量の驟雨を見た。この結果棉に被害はない迄も品質には被害を及ぼすものと見られてゐる。

ヘスター氏發表 過去一週間の世界紡績の米棉引取高は二十八萬七千俵、前週は二十九萬五千俵。

リヴァプール米棉在荷は二十六萬九千俵、前週は二十九萬二千俵。

全國肥料組合發表 九月中に於ける肥料販賣高は十一萬七千米トン、昨年同期は十八萬二千米トン。

米棉產地天候作柄週報

ニューヨーク 十月七日（水）

アメリカ農務省發表、六日（火）を以て終る一週間の米棉產地天候報告の概要左の通り。

今週は氣溫高く、且つ晴天で、而も殆ど全く降雨を見なかつたので、棉花は各地方共急速に開きつゝある。然し北部地方特に北西部地方に於ては未熟の儘開果してゐるといふ。

摘取り及び繰上げは區々の進捗を示してゐる。即ち一部地方では普通乃至は頗る良好なる進捗を示してゐるが然し天候が非常に良好なりしに拘らず他の大部分の地方では稍遲れてゐる。これは主として經濟條件によるものである。

アメリカ 第四回新棉繰上高

ワシントン 十月八日（木）

アメリカ國勢局は第四回新棉繰上高を左の通り發表した。

十月一日調査 五、四〇八、〇〇〇俵

（備考）

一九二四年十月一日調査	四、五二七、六六八俵	
二五年同	七、一二六、二四八	
二六年同	五、六四三、一三九	
二七年同	五、九四四、七三九	
二八年同	四、九六一、三六〇	
二九年同	五、九〇三、二六五	
三〇年同	六、三〇四、六〇八	
三一年八月一日調査	七、〇〇〇	
十六日同	九〇、〇〇〇	
九月一日同	五六五、〇〇〇	
十六日同	二、〇九二、〇〇〇	
十月一日同	五、四〇八、〇〇〇	

新棉州別繰上高

ワシントン 十月八日（木）

	本年十月一日調査	昨年同期
アラバマ	五二九	五八三
アリゾナ	二	二四
アーカンソー	二六九	二六五
カリフォルニア	二八	一五
フロリダ	四〇	四〇
ジョーギア	三三	八四二
ルイジアナ	六五〇	四〇〇
ミシシッピー	三〇〇	五三二
ミゾリー	三五九	五三
ニュー・メキシコ	六	一七
北カロライナ	二一六	一九八
オクラホマ	二八一	二七七
南カロライナ	三七一	二七八
テネッシー	四八	八七
テキサス	二、二六九	二、五八五
ヴァーギニア	六	八
其他	一	二
合計	五、四〇八	六、三〇五

米棉民間收穫豫想

ニューヨーク 十月五日（月）

フエア チャイルド（ニューヨーク通信社）

收穫豫想 一五、八二六千俵

マツク ファデン兄弟商會（ニューヨーク棉花商）

收穫豫想 一五、九〇四千俵 六割六分二厘

フオシツク・ビユーロー（メンフイス統計家）

作柄 六割六分九厘

收穫豫想 一五、三七五千俵

なほ來る八日國勢局發表の新棉繰上高豫想を左の通り發表した。

フエア・チャイルド	四、六三一千俵
マクファデン兄弟商會	四、三八二
フオシツク・ビユーロー	四、七〇〇

アメリカン棉花通信

作柄 六割八分一厘

收穫豫想 一六、〇〇四千俵

ニューヨーク棉花取引所會員平均豫想

收穫豫想 一五、九六〇千俵

なほアメリカン棉花通信は來る八日國勢局の發表する新棉繰上高豫想を五百十八萬一千俵と發表した。

ニューヨーク 十月七日（水）

今迄發表された民間豫想を綜合するに明日發表される農務省の新棉豫想は左の見當であらう。

作柄 六割五分五厘

收穫豫想 一五、五〇九、〇〇〇俵

米棉作柄及收穫豫想

ワシントン 十月八日（木）

アメリカ農務省は十月一日調査の新棉豫想を左の通り發表した。

作柄 六割九分三厘

收穫豫想 一六、二八四、〇〇〇俵

（備考）

	作柄	實收高
一九二一—二二年九月六五日調	四・三	七、九五四千俵
二二—二三年同	五・〇〇	九、七六三
二三—二四年同	四・九五	一〇、一四〇
二四—二五年十月一日調	五・三五	一三、六二八
二五—二六年同	五・六五	一六、一〇四
二六—二七年同	六・一三	一七、九七七
二七—二八年同	五・九二	二、九五六
二八—二九年同	五・三五	一四、七七八
二九—三〇年同	五・四四	一四、四七八
三〇—三一年同	五・五〇	一四、八二五
三一—三二年八月一日調	五・三五	一三、九三二
九月一日同	七・四九	一五、五八四（豫想）
	六・八〇	一五、六八五（同）
	六・九三	一六、二四四（同）

米棉州別收穫豫想

ワシントン 十月八日（木）

	本年九月一日調査	昨年實收高
アラバマ	一、三八五	一、四七三
アリゾナ	二二三	一五五
アーカンソー	二二七	一、二八八
カルフォルニア	一、七五〇	一、五一三
フロリダ	三六	一七六
ジョージア	一、三五〇	二六四
ルイヂアナ	八五〇	三六
ミシシッピー	一、七四〇	一、三一一
ミゾリー	一、五〇〇	八六〇
ニュー・メキシコ	二四六	一、五九三
北カロライナ	九四	九五
オクラホマ	七三〇	七一五
南カロライナ	一、一九五	一、二五四
テネッシー	九二九	九二九
テキサス	五二六	五〇一
ヴァーギニア	五、一〇〇	五、〇九四
その他	三九	四一
合計	一六、二八四	一五、六八五

米棉豫想コムメント

ワシントン 十月八日（木）

アメリカ農務省は本日棉花豫想發表と共に左のコムメントを發表した。

十月一日現在の棉花收穫豫想は千六百二十八萬四千俵で、昨年の繰上高より二百三十五萬二千俵增、一九二五年から一九二九年迄の平均より百一萬六千俵增である。九月一日以來アーカンソー及びミシシッピーの作柄は著しく見直し。アラバマ、ジョージア、テネッシー、ミゾリーも若干增加した。これは氣溫高く、且つ乾燥してゐたため成熟に非常に好都合であつたためである。これに反して從來から氣溫高く且つ乾燥せる地方、特にオクラホマに於ては遲成りのボールが未熟の儘開果しつゝある。北部地方に於ては例年より霜害の懸念は少い。これは例年より多くのボールが十月一日迄に開いたためである。

九月後半に至りボールが急速に開いたため產地に於る種付棉の損耗は例年よりは幾分大であらう。これは風、雨の被害が例年より大なるべき可能性があるためである。

米棉減反法案實施されん

リツルロック 十月十日（土）

アーカンソー及ミシシッピー兩州議會はテキサス同樣の棉花減反案を通過し兩州知事は之を直ちに署名すべき旨聲明した。之で昨年のアメリカ棉產額の半分以上を占める三州が左の減反案を決定した譯である。

一九三二年及一九三三年の棉花植付反別を一九三〇年の各種農產物總植付面積の三割以下に減少する事。

右の法案はアメリカ棉花總產額の四分三を占める諸州が同樣の法案を採擇する迄は實施されない事になつて居る。所でルイヂアナ及南カロライナ兩州は來年の棉作禁止案を可決して居るから、無論減反には贊成であり、又ジョージア及オクラホマもしくは其一つ、並にアラバマが追隨すれば減反案は結局實施されるに至るであらう。然しながらこれは憲法違反ではないか、之は今後必ず問題となつて來るであらう。

（備考） アメリカではトラスト禁止法で相場釣上げを目的とする協定減產を禁じて居る。

アメリカ綿糸布相場

ニューヨーク 十月十日（土）

△プリント・クロス（巾二七吋、一封度七碼X〇、六四X六〇） 二仙七六分九

南部現物相場（工場渡）一碼に付 一六仙

△二〇手單糸

△賣上高

フオルリヴアに於ける過去一週間の綿製品賣上高 三〇、〇〇〇ピース

リヴアプール棉花市況

リヴアプール 十月十日（土）

△現物 可成り活潑。

△定期 主としてボンド爲替につれて動いたが、マンチエスター綿製品市場好況に市況は引立つてゐる。木曜日（八日）發表の米棉收穫豫想は一般の豫期より多かつたが、大して場外筋の賣り氣を刺戟するに至らず、市場は目下手堅い。

△エヂプト棉 米棉につれて動いてゐる。

イギリス九月中の紡績棉花引取高

リヴアプール 十月五日（月）

九月中のイギリス紡績棉花引取高は左の通り（單位千俵）

	今季累計	昨年同期
アメリカ棉	八四	一五五
エヂプト棉	二三	四六
インド棉	三三	五六
其他	六〇	一〇七
合計	一九九	二六四

（備考） 過去の月別數字左の通り。（單位千俵）

	米棉	エヂプト棉	印棉	其他	合計
昨年九月	五八	九	二	三六	一二六
本年九月	六三	二	一六	四〇	一四〇
一二月	七九	一五	—	六二	一五六
三月	一〇四	八	三三	五九	二三四
四月	二二	三〇	一四九	四五	二四九
五月	九五	二五	一五七	四七	一五七
六月	七三	三三	二五	三七	一九四
七月	六九	三三	一〇	四九	一五〇
八月	七一	三三	二	四七	一六五
九月	八四	三三	三	六〇	一九九

マンチエスター綿糸布市況

マンチエスター 十月七日（水）

綿布綿糸共に買ひ氣は著しく增加し商内も增えた綿糸の相場は左の通り。

二〇手	七片3/4—八片3/4
三〇手	八・7/8—一〇・7/8
四〇手	九・半—一一・半
六〇手（エヂプト棉）	一四・半—一六・半

マンチエスター 十月十日（土）

△綿布 商內の先行に就ては意見區々乍ら今週の商內出來高は著しく多かつた。インド向商談は餘り面白くないが支那向商談は引續き良好で、生地及び晒物を買ひ付けてゐる。その他の市場特に大陸筋も買ひ氣を增し、內地市場亦引取り良好である。

△綿糸 特に米棉糸太番物の需要見直し、商內も增加した。エヂプト棉綿糸の商談も稍々增加し、特に二撚糸の需要が目立つてゐる。

イギリスの紡績統制案お流れ

マンチエスター 十月六日（火）

イギリス紡績聯合會は不要紡績機械の整理、綿糸利潤の安定、綿糸の不當廉賣防止のため去る七月末廣況に亘る統制案をたてこれを會員紡績の投票に付したが投票の結果各紡績の態度煮え切らないので英紡聯合會ではこの統制案を放棄する事となつた。

（備考） 英紡の統制案といふのは次の如きものであつた。

一、綿糸紡績業者は一定の平均生產費を遵守し、これに基いて綿糸の賣り値を定めること。但し一定の綿糸協定賣り値は定めない。

一、生產は需要に應じて自動的に統制する事。これには米棉部、エヂプト棉部で夫々プールを作り、これを通じて行ふ。然し生產を生產能力、若しくは過去の生產高の或る一定率迄減らすといふ樣な方法はとらない。

一、過剩の紡績工場買收のために基金を設ける事。

ランカシアの活況

ロンドン 十月八日（木）

久しく不況を續けて來たランカシア・コツトン・コーポレーションは磅貨の下落によつて俄然活況を呈し曩には休業中の四工場（三十一萬錘）を再開したが、又復二工場を再開したと報ぜられてゐる。

なほ綿糸布市場は依然活氣あり、取引高激增し、支那向註文相變ぎ、本邦品グレー・シャーチングに對抗、同品の入註も相當多いと。右は一に銀高と日支關係の惡化の結果と見られてゐる。

一九三一—三二年度 エヂプト棉第一回豫想

アレキサンドリヤ 十月五日（月）

エヂプト政府は一九三一—三二年度の第一回棉花收穫豫想を左の如く發表した。

	サケル	其他	合計
一九二七—二八年	二、五二〇	三、五二一	六、〇四一
二八—二九	二、五三三	五、三一四	七、八四七
二九—三〇	二、六九五	五、六三四	八、三二九
三〇—三一	二、〇七一	五、九四五	八、〇一五
最終豫想	二、一〇九	六、一六五	八、二七四
繰上高			
三一—三二年第一回豫想	一、三六〇	五、〇五六	六、四二六

ボンベイ綿糸布相場

十月十日（土）

晒巾一五〇〇番ライブマン	一四留比
生金巾二〇〇番ファリ	五留比四分三
粗布三ヤード龍C	四留比八分一
二〇手綿絲	七アンナ
一〇手綿絲	五アンナ

上海綿糸布市況

上海　十月七日（水）

排日貨、滿洲事變に惱まされつゝある上海紡績界は次の如くである。九月廿三日以來現在迄邦人紡績受渡高江浙地方向のものは皆無。天津青島方面向（大部分天津）綿糸二十番手、四十二番手約三千俵、綿布約一千二百俵にしてその他、二、三日以前に受渡濟のもの極く少量。

漢口、廣東で積出しがあつたが、廣東は去る二日、漢口は去る四日以降積止めとなつた。上海邦人紡績生産高九月廿三日より現在迄綿糸約一萬六千、綿布約六千俵である。然しこの受渡高は綿糸一割九分、綿布二割に相當する尤も廿二日迄に可成り受渡し出來たが九月全體とすれば綿糸約三分ノ二、綿布約三分一の受渡しが出來なかつた勘定となる。

內外綿は四十二番手を多少天津に出してゐるけれども大したものではないが尤も右は九月初めから十七、八日頃迄に外棉安と紡績の採算有利で來年一—六月迄先約定綿糸八、九千萬、綿布四千俵の巨額の手合せがあつたのが誤つて傳へられたのではないかと。

生絲

ニューヨーク生糸市況

ニューヨーク　十月八日（木）

市況は活潑で頗る手堅い。靴下製造業者は大體現在の値頃で十一月十二月渡しの物を盛んに買ひ付けてゐる。一方廣巾絹布製造業者の需要は季節的に減退した。

定期市場は株式市場につれて動搖したが最近にはフーヴァーの不況對策提案の報に强調となつた。

△レーヨン糸　稍々閑散乍ら氣配は良好である。

ロンドン生糸相場（一封度建）

	十月五日	七日	九日
上海七里經絲（再繰絲）	九志八分三	九志二分一	九志四分三
廣東新式絲	九志八分三	九志二分一	九志四分三
羊印（同）			
リヨン經絲	九志八分一	九志四分一	九志二分一
駝鳥印			
同太陽印	八志八分七	九志	九志四分一
日本機械糸飛切	三志四分三	三志二分一	三志二分一
同細絲	三志	二志四分三	二志四分三

上海生糸相場

上海　十月五日（月）

機械糸白各中共通特優格　一、一四〇兩
同　同　普通格　九四〇
同　黃　十四中金象　九五〇
七里糸十四中藍龍飛馬　九二〇
柞　蠶　糸　三八〇
（ノミナル）

ヴイスコース糸値上か

ロンドン　十月八日

ロンドン人絹市況は內外取引增加し、支那向輸出有望視され、ヴイスコース糸需要良好。値上げ豫想もある。

絹綿物は季節外れに加ふるに市況不安定のため商談薄い。

油脂

ロンドン油脂市況

ロンドン　十月十日（土）

△亞麻仁　駐り需要良好。

△亞麻仁油　供給多く商內減退。

△滿洲大豆　商內相當。

△大豆油　引續き不活潑。

△菜種　トリアの本年產物に若干買ひ氣ある外市場一般に氣乘薄。

ニューヨーク植物油相場

ニューヨーク　十月七日（水）

（現物、關稅濟）

亞麻仁油	粗製、紐育	四七仙
	タンク渡ロンドン	
菜種油	精製、樽入	四三仙
	紐育甲板渡	
棉實油	同　上一封度	四仙
同	上　粗製、紐育	三仙四分一
	タンク渡	
大豆油	同　太平洋岸	六仙
落花生油	同　東洋品	八仙四分一
椰子油	粗製　同	三仙
支那桐油	錫蘭板　同	五仙四分三
荏油	樽入、太平洋岸甲板渡	五仙八分七
苴麻子油	同　上　同	二仙四分一
	第三號樽入紐育甲板渡	

（棉實油定期相場は第六頁にあり）

ロンドン大豆油相場

（東洋品バルク積百十二封度）

十月六日（火）十、十一月積賣手　一八志
七日（水）同　同　一七・四分三

△滿洲大豆（一トンに付き）

九月五日（月）輸送中（賣手値段で出來値）	六磅〇三志四分三	
十月積　同	六・一〇・	
十一月積　賣手	六・一〇・四分三	
六日（火）十月積　同	六・一〇・四分三	
十一月積　同	六・一〇・四分三	
七日（水）輸送中（賣手値段で出來値）	六・一〇・四分一	
八日（木）輸送中　同	六・一〇・二分一	
十月積　同	六・一〇・四分三	
九日（金）輸送中　同	六・一〇・三分三	
十月積　買手	六・一〇・四分三	
十一月積　賣手	六・一〇・	
十月積（賣手値値で出來値）	六・一〇・四分三	
十日（土）九月積　同	六・一〇・四分一	
十月積　同	六・一〇・	

△トリヤ菜種（CIFロンドン）

十月五日（月）十、十一月積賣手	一〇磅四分三	
六日（火）同　同	一〇・八分五	
七日（水）同　同	一〇・八分五	
八日（木）同　同	一〇・八分五	
九日（金）同　同	一〇・八分五	
十日（土）同　同	一〇・四分三	

アルゼンチン第二回亞麻仁反別豫想

ブエノスアイレス　十月六日（火）

アルゼンチン農務省は一九三一—三二年十四萬一千エーカーと發表した。これを去る八月廿五日發表の第一回豫想に比すれば十四萬一千エーカーの增加。昨年度反別に比すれば百十五萬一千エーカーの激增を示してゐる。

（備考）過去の比較は左の通り。

	反別（千エーカー）	收穫高（千メートルトン）
一九二六—二七年	六、六九二	一、七五五
二七—二八	七、〇五一	二、〇一八
二八—二九	七、〇八五	二、九五三
二九—三〇	七、一五一	一、三七
三〇—三一	七、一九〇	一、七五〇
三一—三二		
第一回豫想	八、二〇〇	—
第二回同	八、三四一	—

ハルビン豆粕相場

△市中相場邦貨換算（f.o.b.浦塩渡百斤建）

十月五日（月）十月渡	一圓八一錢	一圓七九錢	
六日（火）同　同	出來値	一圓八五錢	
七日（水）同	同	一圓八五錢	
八日（木）同	買手見當	一圓八六錢	
九日（金）同	同	一圓八八錢	
十日（土）同	休	—	

大連三品出來高

（大連重要物產取引所定期賣買出來高）

（單位大豆油百瓩大豆一車、豆粕千枚）

	豆油	大豆	豆粕
十月五日（月）	三八五	四一一	一七四
六日（火）	三七五	四一八	一六二
七日（水）	四一五	五〇七	一二三
八日（木）	三三〇	四五四	一二一
九日（金）	四九〇	三一五	九四
十日（土）	休	—	—

砂糖

ニューヨーク砂糖市況

ニューヨーク　十月十日（土）

△粗糖　相場の動きは小さい。今週の市中賣買出來高はヒリツピン糖一萬三千袋、ポルトリコ糖六萬一千袋、キューバ糖二十二萬二千袋合計二十九萬六千袋。精糖業者は餘り先物迄買はふこせず、又手持筋も賣り焦らない。一方精糖會社の必要品はキューバ糖以外の手持筋の賣り物で充分手當てが出來る尤もこれ等の手持が漸次減少しつゝあるので、精糖業者は新糖の出廻りまでキューバ糖を多量に買ひ付けなければならないものと一部では見てゐる。

△精製糖　値上げに先立つて一般の買ひ物盛んに行はれ茲一ケ月間の手當ては終つてゐるらしい。目下の會社賣り値は四セント六〇で前週より五ポイント騰貴した。

一九三一年度アメリカ甜菜收穫豫想

ワシントン　十月十日（土）

アメリカ農務省は十月一日調査の一九三一年度アメリカ甜菜作柄及び收穫豫想を左の通り發表した。

作柄	收穫豫想	收穫高
十月一日	八割二八	七、四八九千トン
一九二四年	八・二六	七、三八一
二五	八・三三	七、二二三
二六	八・五八	七、七五三
二七	八・五五	七、一〇一
二八	八・七八	七、三二八
二九	八・五四	九、一七五
三〇		
三一（豫想）		
七月一日	八・四七	七、五七〇
八月一日	七・八九	七、二〇〇
九月一日	七・六四	七、一三〇
十月一日	—	七、一六〇

（備考）過去數年間の作柄及び收穫高左の通り。

十月一日	收穫高	
一九二四年	七、二〇〇、〇〇〇トン	
二五	—	

ロンドン砂糖市況

ロンドン　十月十日（土）

依然ポンド爲替につれて動いてゐるが、底意は良好。これは統計狀態が漸次見直した爲である。

△粗糖　賣り方は手控へてゐるが、商內はホンの弗々。

△精製糖　商內良好。

△定期　粗糖は浮動。然し結局前週より騰貴してゐる。賣り物は少く需要良好。精糖もニューヨーク稍々見直しに買ひ埋め現はれたが週末には閑散。

ジヤワ本年糖第七回豫想

スラバヤ　十月九日（金）

ジヤワ・トラストは本年第七回產糖豫想を左の如く發表した。（單位トン、一トンは千キログラム）

	昨年度生產高	中双廿五番以上	白双及黃双	その他	合計	トラスト加盟外工場	合計
一九二四年生產高	一、七九一、二〇〇	二、〇七五、七〇〇	一、八一四、九〇〇	二、一七五、四〇〇	二、一八、二〇〇	二、七〇二、九〇〇	三〇
二五	二、九、六、〇〇〇	二、二四二、三〇〇	一、九八八、八〇〇	二、三九三、八〇〇	二、六六、二〇〇	二、九六六、一〇〇	二九
二六	二、一〇、一〇、八〇〇	二、三八、〇〇〇	一、七三、九〇〇	二、一八、四〇〇	二、六六、一〇〇	二、九八六、一〇〇	二八
二七	二、三八、〇〇〇	二、三七、〇〇〇	一、九八八、八〇〇	二、三九三、八〇〇	二、九九五、一〇〇	二、九三九、一〇〇	二七
二八	二、一〇、一〇、八〇〇	二、三八、〇〇〇	一、七三、九〇〇	二、一八、四〇〇	二、六六、一〇〇	二、九八六、一〇〇	二六
二九	二、七〇二、九〇〇	二、六六、一〇〇	一、九八八、八〇〇	二、三九三、八〇〇	二、九九五、一〇〇	二、九六六、一〇〇	二五
三〇							
三一年（豫想）							
第一回	二、七五一、五〇〇	二、七五一、〇〇〇	一、七五五、〇〇〇	二、五〇六、五〇〇	二、七五、〇〇〇	二、七四九、四〇〇	二、七〇〇、〇〇〇
第二回	二、七五三、〇〇〇	二、七五、〇〇〇	一、七五、〇〇〇	三、〇二八、〇〇〇	二、七五、〇〇〇	二、七四九、四〇〇	二、七〇〇、〇〇〇
第三回	二、七五、〇〇〇	二、七五、〇〇〇	一、九七五、〇〇〇	三、〇二四、四〇〇	二、七五、〇〇〇	二、七四九、四〇〇	二、七〇〇、〇〇〇
第四回	二、七五、〇〇〇	二、七五、〇〇〇	一、九一一、六〇〇	二、九一一、六〇〇	二、六五、〇〇〇	二、六六六、六〇〇	二、六四六、六〇〇
第五回	二、八六五、二〇〇	二、九五、〇〇〇	二、八六五、二〇〇	二、八六五、二〇〇	二、六五、〇〇〇	二、六六〇、一〇〇	二、六六一、一〇〇
第七回	二、八四七、三〇〇	二、八六五、〇〇〇	二、九五九、三〇〇	二、九五九、三〇〇	二、六五、〇〇〇	二、五九二、三〇〇	二、五九二、三〇〇

（備考）（單位トン）

トラスト加盟外工場	合計
一、六二五、八〇〇	一、八七九、二〇〇
九一五、三〇〇	七五六、九〇〇
五一、一〇〇	六六、四〇〇
二、七〇二、九〇〇	
二五五、〇〇〇	二六六、二〇〇

小麥

シカゴ小麥市況

シカゴ　十月十日（土）

商況は初め鈍狀であつたが、その後フーヴァー案と株式急騰で强人氣著しく擡頭した。尤も時々利喰ひ物で相場の昂騰步調は阻止され、ロシアの入報區々なる事も不安材料であつた。

アルゼンチン政府發表によれば同國の新麥反別は千七百二十三萬エーカーで、過去五ケ年平均よりも三百六十七萬エーカー減である。又現在のアルゼンチンの輸出剩餘は六千二百萬ブッセル、オーストリアは千五百萬ブッセルである。

相場は本日著しく昂騰し、取引も最近數ケ月來の多額に上つた。原因は大口の外國需要があつたためで、これは輸入國が今迄過度に買控へてゐた證左と見られる。一方先行も好望視され、相場漸次騰貴するものと信ぜられる。

アメリカ春小麥最終收穫豫想

ワシントン　十月十日（土）

アメリカ農務省はアメリカ春小麥の最終收穫豫想を左の通り發表した。

（備考）（單位千ブッセル）

春小麥	一〇九、一〇六千ブッセル
一九二七年收穫高	三三五、六二七
二八　同	三三六、一〇三
二九　同	二三三、九六三
三〇　同	二四六、六二八
三一（豫想）	
七月一日	一五六、四〇二
八月一日	一一八、〇〇〇
九月一日	一一〇、四六三
最終豫想	一〇九、一〇六

アルゼンチン小麥反別第二回豫想

ブエノスアイレス　十月六日（火）

アルゼンチン農務省は一九三一—三二年度同國小麥反別第二回豫想を一千七百二十二萬八千エーカーと發表した。これは去る八月廿五日發表の第一回豫想に比し十八萬五千エーカーの增加である。然し前年度の反別に比すれば三百四十七萬四千エーカーの減少を示してゐる。過去の比較は左の通り。

	反別（千エーカー）	收穫高（千メートルトン）
一九二六—二七年	一九、三六	六、〇一〇
二七—二八	一九、一六九	六、五〇九
二八—二九	二〇、二六八	八、四五八
二九—三〇	一九、四二一	三、七四〇
三〇—三一	二〇、七二一	六、五〇〇
三一—三二		
第一回豫想	一七、〇四三	—
第二回同	一七、三二八	—

ゴム

ロンドン・ゴム市況

ロンドン　十月十日（土）

商內は先頃よりは減少し、且つ相場の動きも少さくなつたが、然しアメリカ及び大陸筋から實需があり、相當商內も出來た。又ゴム減產說の擡頭で空賣り筋の買ひ埋めも若干出た。九日（金）には海峽植民地の商人手持在荷減少を傳へて更に見直したが、買ひ物續かず、高値は維持出來なかつた。

リヴアプール小麥市況

リヴアプール　十月十日（土）

市況强調、これは主として世界、特にヨーロッパの生產高が豫期よりも少なかつたためである。而して外國爲替の動搖に拘らず相當商內が出來た。

（昭和六年十月四日——十日發信）

シンガポール 九月末殖民地ゴム在荷

シンガポール 十月九日(金)

九月末に於る海峡殖民地商人ゴム手持は三萬九千三百六十八トンと發表された。尚この中には濕潤重量によつたものもあるので、これを全部乾燥重量に換算すると三萬八千四百十一トンとなる。

〔備考〕（單位トン）

	商人手持	乾燥重量
昨年九月	三七、一八五	三六、六一八
本年一月	四三、六九八	四二、二〇一
二月	四四、一〇五	四二、九八六
三月	四五、六〇七	四四、三一七
四月	四二、四六七	四一、一四五六
五月	四一、一三五	四〇、〇〇九
六月	四三、〇一〇	四二、〇六六
七月	四三、八三一	四二、六四九
八月	四三、三五四	四二、三九三
九月	三九、三六八	三八、四一一

シンガポール ゴム競賣成績

シンガポール 十月七日(水)

	前週
△賣出高	七六六噸
△賣上高	七四二噸
	六二七噸

▲競賣相場（最高値、一封度に付）

クレープ（グッドベール） 八仙四分三

シート（グッドアベレーヂ・クオリティ・リブト・スモークド） 八仙二分一

船舶

ロンドン海運市況

ロンドン 十月六日(火)

市況は概して閑散。主なる約定は左の如し。

サンロレンゾ＝イギリス、歐大陸 雜穀 五、五〇〇噸 二月積 二〇志（以上四口出來）

サンロレンゾ＝イギリス、歐大陸 雜穀 六、八〇〇噸 一月乃至四月積 一九志

サンロレンゾ＝イギリス、アーブル、ハンブルグ 雜穀 七、二〇〇噸 十、十一月積 一八志半

サンロレンゾ＝イギリス、歐大陸 雜穀 五、三〇〇噸 十一、十二月積 一九志

サンロレンゾ＝イギリス、歐大陸 雜穀 五、五〇〇噸 十月後半積 二〇志

モントリオール＝ロッテルダム 雜穀 二〇、〇〇〇クオーター 直積 八仙

ヴイクトリア、シドニー＝イギリス、歐大陸、地中海 雜穀 袋入 七、五〇〇噸 十二、一月積 三志半

サンドミンゴ＝イギリス、歐大陸 砂糖 五、〇〇〇噸 十月上旬積 一四志半

ウエールス＝ポートサイド 石炭 五、〇〇〇噸 十月十日直積 六志半

ボルチック傭船契約

ロンドン 十月六日(火)

ロンドンのボルチック船舶取引所で左の傭船契約が成立した。

一、噸數 八、六〇〇噸（重量噸）
一、就航路 記載なし
一、期間 四ケ月乃至六ケ月
一、引渡地 シンガポール
一、返却地 支那又は日本
一、引渡期 十二月
一、傭船料 一噸に付三志四分三

アメリカ 汽船會社大合同案

ニューヨーク 十月八日(木)

ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙は本日次の如きアメリカ並に外國航路汽船會社合同の驚くべき事實を報道してゐる右報道に曰く

目下サンフランシスコに於てハーバート・フライシュハツカー氏、ロバート・ダラー氏、スタンリー・ダラー氏、カーミツド・ルーズベルト氏、ジョン・エム・フランクリン氏、アメリカ銀行家・船舶業者等が出席した會議に於て、ルースベルト、インターナショナル、マーカンタイル、マリン、ダラー、チャツプマン、ドウン各汽船會社の合同案が審議に上つたこの合同案が愈々實現すればアメリカ海軍史上最大の會社合同が行はれる譯で、アメリカの大西洋、太平洋岸港灣からヨーロツパ東洋に至る各航路世界一周航路沿岸貿易に從事する船舶會社が單一の組織に合同されることゝなり、旅客船、貨物船を入れて百八十一隻、總トン數百五十萬トンの船舶が同一會社に統一され船舶各港事務所並にその他の資產總額數千萬ドルに及ぶであらう。就中ルーズベルト、ダラー兩汽船會社が卒先して右合同案の實現につとめるものと觀られる。

週統計

アメリカ 聯邦準備銀行週報

ワシントン 十月八日(木)

▲十月七日現在（單位百萬ドル）

		昨年同期
△資產總額	五、七〇五	四、八三三
內支拂準備額	三、一九三	三、二六六
內金準備	三、〇三七	二、九七七
內、聯邦準備券に對する準備	一、九〇九	一、五八四
金以外の準備	一五六	一五〇
準備外現金	六七	六六
手形及證券	一、八〇一	九九一
其他資產	六四四	六五〇
△負債總額	五、七〇五	四、八三三
內聯邦準備券流通高	二、一七〇	一、三六五
預金	二、一七六	二、〇六六
內、加盟銀行準備勘定	二、一七七	二、〇六八
政府預金	三一	三三
外國銀行預金	一五三	七
其他預金	二五	八
支拂準備額の聯邦準備券及預金額に對する割合	六七%一	八一%六
△最近數週統計		

イングランド 銀行週報

ロンドン 十月八日(木)

▲十月七日現在（單位千ポンド）

	支拂準備額	流通高	預金高
九月廿三日	三、四九二	二、〇五五	二、四八七
同 廿日	三、四〇一	二、〇〇九	二、五〇六
十月七日	三、一九三	二、一七〇	二、四八六

	前年同期	前々年同期
公債預金	一〇、六〇〇	八、四五九
其他預金	一三〇、七〇〇	一〇四、三二八
政府證券	一〇〇、一〇〇	七二、七〇七
其他證券	四四、六六六	二九、五八六
紙幣及金銀貨	二七、四〇九	二九、五六六
金地金在高	五二、一〇〇	二八、一五九
英蘭銀行券流通高	一五六、六〇〇	一三一、九七七
預金準備割合	三五九、三〇〇	三五、五八〇
△最近數週統計（單位十萬ポンド）	三六%九五	五〇%〇六
		二四%九六

	諸預金	諸證券	準備金	金地金	銀行券流通高
九月廿三日	一三八、九	九七、九	一三五、〇	三五三、七	
廿日	一四五、三	一〇九、六	五四、〇	三五二、七	
十月七日	一四一、三	一〇六、七	五二、二	三五九、三	

イギリス 金銀塊輸出入額

ロンドン 十月九日(金)

▲十月七日迄一週間（單位千ポンド）

△輸出

金塊 七二七	フランスへ	三六五
	オランダへ	二一四
	オーストリアへ	八五
	チエツコ・スロヴアキアへ	四三

△輸入

銀塊 二六		
金塊 二、〇一八	アフリカより	一、〇〇九
	アメリカより	三〇三
	ウルグエより	二五〇
	オーストラリアより	一〇五
	オランダより	二五
	海峡植民地より	一〇五
銀塊 一四四	メキシコより	九八
	エヂプトより	二八

▲一月以降金輸出入額累計

	輸入	輸出	內對米	對印
本年累計	七七、六八〇	六一、三六七	三八、四一二	一
昨年同期	八四、九一〇	五二、八六三	六六、三一四	昨年同
內アメリカ	五一〇	—	三一、五九六	
インド	二〇二	一、四八七	一、七八三	

△最近數週金統計

	輸入	輸出	內對米	對印
九月廿三日	八五二	三、三四四	—	—
廿日	一、二四〇	五〇〇	二一一	—
十月七日	二、〇一八	七二七	—	—

ロンドン正貨積出高

ロンドン 十月九日(金)

▲汽船 Rampura 號積 銀貨 七、〇〇〇ポンド
總計 金貨 七〇〇
ポートセツドへ
ボンベーへ 金貨 六、三〇〇
▲汽船 Raspore 號積 銀貨 四〇〇ポンド
ボンデイチエリーへ

インド政府通貨週報

カルカツタ 十月十二日(月)

▲十月七日現在（單位十萬ルーピー）

		前年同期	前々年同
紙幣流通高		一七、二〇六	一八、六三九
銀塊銀貨	在印	一三、一九四	一一、二五九
	在外	—	—
金塊金貨	在印	四二〇	三、二三八
	在外	—	—
證券	印度政府	一、五二七	一、五八三
	英國政府	—	二〇三
爲替手形		二五〇	—
△最近數週統計			

	紙幣流通高	在印金銀 銀	在印金銀 金	政府證券 印度	政府證券 英國
九月廿二日	一四、六三三	一三、二五三	四四八	九一九	—
廿日	一四、八七三	一三、二五三	四二〇	九四八	—
十月七日	一五、九三三	一三、一五四	四二〇	一五二七	—

フランス銀行週報

▲十月二日現在（單位百萬フラン）

		昨年同期
金準備高	五九、八一四	四九、一〇一
紙幣發行高	八一、五一四	七四、五一六
△最近數週統計		

	金準備高	紙幣發行高
九月十八日	五八、五七五	七七、五七五
廿五日	五九、三四六	七八、一七三
十月二日	五九、八一四	八一、五一四

ドイツ ライヒス銀行週報

▲十月七日現在（單位百萬マルク）

		昨年同期
兌換準備 金	一、二一九	二、二四三
外國爲替	一四二	一三六
紙幣流通高	四三、五三	四五、〇一
△最近數週統計		

	兌換準備 金	兌換準備 外國爲替	紙幣流通高
九月廿三日	一、二七四	二九八	四一、一七四
廿日	一、二〇一	一三九	四四、六〇九
十月七日	一、二一九	一四二	四五、三三

上海銀塊在荷高

上海 十月九日(金)

▲十月八日現在

		昨年同期
上海市中總在荷高	六四一、一九四千兩	一〇三、六四四千兩
	一六九、〇五〇千弗	一三八、九二〇千弗
	九一四本	二、三三四本
內支那銀行手持高	三八、九七〇千兩	三六、七〇〇千兩
	一四九、七〇〇千弗	二二、七〇〇千弗
	八五七本	五九二本

△最近數週統計（上海總在荷高）

	千兩	千弗	本
九月廿四日	六六、七五五	一七一、五八〇	三七五
十月一日	六六、五二六	一七〇、四八〇	八七六
八日	六四、一九四	一六九、〇五〇	九一四

アメリカ棉花統計

ニューヨーク 十月九日(金)

▲ニューヨーク綿花取引所發表（本年八月一日より累計、單位千俵）

	今季累計	昨年同期
出廻高	三、一一〇	四、三六〇
米國紡績引渡高	八八八	八一七
輸出高	九三八	一、五一六
內日本	二六一	一九六
支那	一八一	四六
英國	五七	二〇九
ドイツ	一七〇	五二四
ニューヨーク在荷	二三〇	二三〇
アメリカ在荷	四、八七六	四、一五一
各國棉世界在荷	八、一四五	七、四六九
內米棉	六、三五九	五、七〇〇
世界各國紡績米棉引渡高	一、九六五	一、七四七

▲注意 出廻高及び紡績引渡高にはリンターを含まず。他はリント及びリンターの合計。

△最近數週統計

	出廻高	引渡高	輸出高	內日本	米國在荷高
九月廿五日	四五九	八八	八四	三〇	三、九六一
十月二日	六九三	一三〇	二六一	七〇	四、二六三
九日	九一五	二〇九	九五	二八	四、八七六

エヂプト棉花統計

アレキサンドリヤ 十月九日(金)

▲アレキサンドリヤ一般取引所發表（本年九月一日より累計、單位千カンター）

	前年同期	前々年同
入荷高	七七八	一、〇〇八
輸出高	五五三	四四六
在荷高	四、三〇一	一、七九八
△最近數週統計		

	入荷高	輸出高	在荷高
九月廿四日	一、八	五〇	四、〇六四
十月一日	一四八	七二	四、一四三
八日	二三〇	七二	四、三〇一

ボンベイ棉花統計

ボンベイ 十月十日(土)

▲ボンベイ棉花取引所發表（本年九月一日より累計、單位千俵）

	入荷高	前年同期	前々年同
輸出高	四一	七六	七五

	歐洲	支那	日本	其他	計
九月廿四日	三七	三六	三四	六	一〇三
十月一日	三七	三六	三五	六	一〇三
八日	三〇	四八	二	二	五一五

△最近數週統計

	入荷高	輸出高 歐洲	輸出高 支那	輸出高 日本	在荷高 歐洲	在荷高 支那	在荷高 日本
九月廿四日	三七	六三	六三	八一	五八三	三六	八六
十月一日	三〇	七六	四八	六	五三六	五三六	七二
八日	六六	六六	三五	二	五一五	五一五	五

キューバ砂糖統計

ニューヨーク 十月九日(金)

▲ウヰレットグレー商會 九月廿九日調査

△新糖（單位トン）

		昨年同期
作業中工場	—	—
生產高	三、一三二、二〇〇	四、六七一、一六〇
キューバ消費高	一一三、〇〇〇	一一六、〇〇〇
輸出港入荷高	一、八五五、四〇〇	三、三〇四、七〇一
輸出高	一、一五三、一〇〇	二、一六五、七五一
製糖工場在荷（及鐵道輸送中）	一、一五三、七〇〇	一、一五〇、五五九
輸出港在荷	七〇二、四〇〇	一、一三八、九九九
△舊糖		
輸出港在荷	四八、六〇〇	—

△最近數週統計（單位百トン）

	作業工場	生產高	入荷高	輸出高	輸出港在荷高
九月廿二日	—	三三三	二九九	七一六三	七〇二八
廿九日	—	二三一	五六七	七〇二六	七〇二四
十月六日	—	三〇三	三〇七	七〇二四	

イギリス・ゴム統計

ロンドン 十月五日(月)

▲ロンドン・ゴム協會發表（單位トン）

	本年累計	昨年同期
入荷高	一、〇〇五	五四、五七六
引取高	一、八一四	五一、四〇四
在荷高	七九、二四六	—
△最近數週統計		

	入荷高	引取高	在荷高
九月十九日	九一五	八七八	八一、〇四八
廿六日	一、〇七五	二、〇六八	八〇、〇五五
十月三日	一、〇〇五	一、八一四	七九、二四六

△週末在荷民間豫想

十月九日(金) 四〇〇トン減

リヴアプール 十月五日(月)

▲リヴアプール十月三日現在（單位トン）

	本年累計	昨年同期
入荷高	三三三	三四、〇三一
引取高	三三四	一九、九四七
在荷高	五四、六七七	—
△最近數週統計		

	入荷高	引取高	在荷高
九月十九日	八六一	六二八	五五、〇二四
廿六日	八八	三三三	五四、七七九
十月三日	三三	三三四	五四、六七七

△週末在荷民間豫想

十月九日(金) 八五〇トン增

○本誌定價、半ヶ年＝廿六週分＝郵稅共金貳拾圓

發行所 大阪市東區北濱五丁目十二番地 新聞聯合社大阪支社 電話本局二二〇〇番三八四〇番 振替貯金口座大阪六八〇〇番

編輯發行兼印刷人 東川嘉一